

STANDARD HORIZON

Nothing takes to water like Standard Horizon

25 Watt VHF FM Marine Transceiver

MATRIX SERIES

GX2150J

取扱説明書



この製品は、船舶共通通信システム 国際 VHF 無線機です。
ご使用になるには、第二級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
正しくお使いいただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

目次

特長	3	位置情報要求	34
リセット操作	3	『位置情報要求』のしかた	34
国際VHF無線局を開局される皆様へ	4	『位置情報要求』を受けると	35
操作早見表	5	位置情報送信	36
各部の名称と働き	6	『位置情報送信』のしかた	36
安全上のご注意	8	『位置情報送信』を受けると	37
お使いになる前に(準備)	9	DSCログ(送受信履歴ファイル)	38
無線機の取り付け	9	DSCログの見かた	38
周辺機器の接続	10	DSCログの削除	39
MMSIの登録	11	テストコール	40
使いかた	12	『テストコール』のしかた	40
基本操作	12	『テストコール』を受けると	41
送信出力の切り替え	13	ポーリングコール	42
照明ランプの明るさ調節	13	『ポーリングコール』のしかた	42
その他の機能と操作	16	『ポーリングコール』を受けると	43
プリセットチャンネル	16	AIS機能	44
スキャン操作	18	ウェイポイント機能	46
2波受信	19	登録方法	46
霧笛機能	20	ナビゲーション	47
拡声器機能	22	登録した『ウェイポイント』の 修正と削除	47
内線通話機能	23	設定メニュー操作	48
遭難通報	24	リモートマイク“CMP30”の使いかた	62
『遭難通報』のしかた	24	各部の名称と働き	62
遭難通報自動送出機能を 一時的に中断する	26	内線通話機能	63
『遭難通報』を受信すると	27	外部スピーカーのON/OFF設定	64
個別コール	28	外部スピーカーの 音量調節方法設定	65
『個別コール』のしかた	28	埋込設置用固定ブラケット “MMB-84”の使いかた	66
『個別コール』を受けると	29	付属品・オプション	67
グループコール	30	定格	68
『グループコール』のしかた	30	GX2150J寸法図	70
『グループコール』を受けると	31		
全船コール	32		
『全船コール』のしかた	32		
『全船コール』を受けると	33		

- **国際VHF規格 総務省技術適合証明取得機種**
- **AIS(Automatic Identification System : 船舶自動識別装置)受信機能を標準装備** : 船舶名称、呼出符号等の静的情報と、進路、速度などの動的情報を自動的に受信し、航行の安全に寄与する装置で、お互いの船舶が衝突進路にある場合にアラームで知らせる便利な機能です。
- **DSC機能*1対応** : 遭難通報、緊急通信、個別コール、グループコールや、GPS機器との接続により位置情報の通信など便利な機能を使うことができます。
- **混信に強い受信部** : 近くに大出力の送信施設があるような場所でも混信を受けにくく安心して使用することができます。
- **防水設計** : 荒天候でも安心して使えるIPX7*2(1m・30分)対応の防水設計です。
- **優れた操作性** : 照明付き操作キーを採用、プッシュ機能付きチャンネルダイヤルで各種機能設定が簡易に行えます。
- **日本語対応LED照明付きディスプレイ** : 表示部は日本語に対応したLED照明付きのフルドットマトリックスですので、夜間でも瞬時に動作状態を確認することができます。
- **緊急連絡用チャンネル** : フォンタッチで緊急連絡用の16チャンネルと9チャンネルに移動することができる専用チャンネルボタンキーと、誤操作を防ぐ専用カバー付き緊急自動送信用のディストレスボタンをフロントパネルに配置しています。
- **2波受信機能** : 2つのチャンネルを自動で交互に受信することができます。仲間との連絡用チャンネルと非常用の緊急チャンネルを自動で交互に受信できます。
- **拡声器機能** : 30Wの拡声器として使用できます(オプションのホーンスピーカー220SWが必要です)。
- **専用マイクロホン** : 手で操作ができる操作キー付きの防水マイクロフォンを付属しています。
- **リモートアクセスマイク対応** : オプションのリモートアクセスマイク(CMP30)を接続すると、無線機本体のほとんどの操作がリモートマイクから行うことができます。また、無線機とリモートマイク間で内線通話が行えるようになります。
- **GPSチャートプロッターを接続可能** : オプションのGPSチャートプロッターCP300iを接続すると、従来のチャートプロッター機能以外に遭難通報したときの位置情報を表示したり、AISを受信した全ての船舶位置情報を表示することができます。
- **イージートゥーオペレート(Easy To Operate)対応** : 簡単でわかりやすい操作を実現したイージー・トゥー・オペレートに対応しています。

*1 ITU Class D(ITU-R M493)のDSC機能を搭載しています。

DSC機能を使用するには、第二級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。

*2 IPX7準拠: 水深1mで30分間耐える防水機能。

リセット操作

【プリセットメモリーをすべて消去する】

プリセットメモリーに登録したチャンネルを、一度にすべて消去することができます。

1. **[PWR▼/VOL]** ツマミを長く押し、一度電源を“OFF”にします。
2. 3つのソフトキーを押しながら**[PWR▼/VOL]** ツマミを長く押しして電源を“ON”にします。

【お買い上げ時の状態に戻す】

操作がわからなくなったり、おかしな動作をするようなときは、下記の操作を行うことにより、設定状態をクリアして、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

※: MMSI番号、個別アドレス帳、グループアドレス帳はクリアされません。

1. **[PWR/VOL]** ツマミを長く押し、一度電源を“OFF”にします。
2.  ボタンと  ボタンを押しながら **[PWR▼/VOL]** ツマミを長く押しして電源を“ON”にします。

国際 VHF 無線局を開局される皆様へ

八重洲無線の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本機をお使いになる前に、下記の注意事項をお読みください。

■ 無線技士の資格が必要です。

この製品をご使用になるには、第二級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。

■ 無線局を開局するためには電波法に基づいた手続きが必要です。

無線局申請用紙に必要事項を記入のうえ、国の収入印紙(県の収入印紙は認められません)を添付し、主たる停泊港を管轄している総務省地方総合通信局(沖縄の場合は沖縄総合通信事務所)へ申請書を提出してください。審査に合格すると免許状および申請書の写しが返送されてきますので、免許状が届いてから運用を開始してください。

無線局の免許を受けずに無線局を運用した場合は、懲役1年以内、罰金100万円以下に処せられる場合があります。

■ DSC機能をご使用になる場合は、MMSI番号を無線機に登録する必要があります。

DSC機能をご使用になるには、免許状に記載されたMMSI番号(海上識別信号)を無線機に登録する必要があります。

DSC機能は、遭難や緊急時に船舶名や免許人名などの重要な情報を通知するためのものですので、必ず登録をお願いします。

登録方法は11ページに記載していますので、間違えないよう正しく登録してください。

■ 本機は5年ごとの定期検査が必要です。

本機のように、固定型として使用する無線機の場合、船舶検査と同じように、5年ごとに検査を受けなければなりません。

検査を受ける年度にあたったときには、管理局より通知が届きますので、検査を受けてください。

■ 運用マナーを守って運用してください。

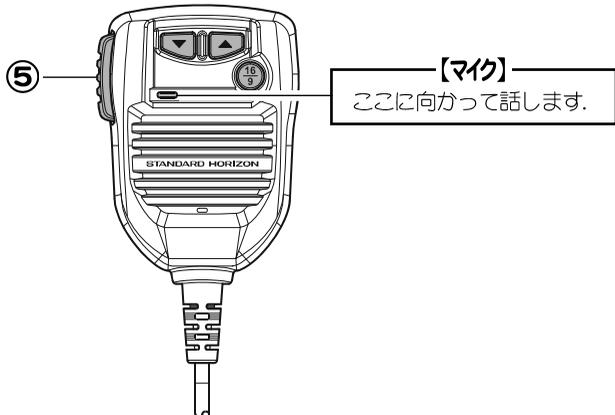
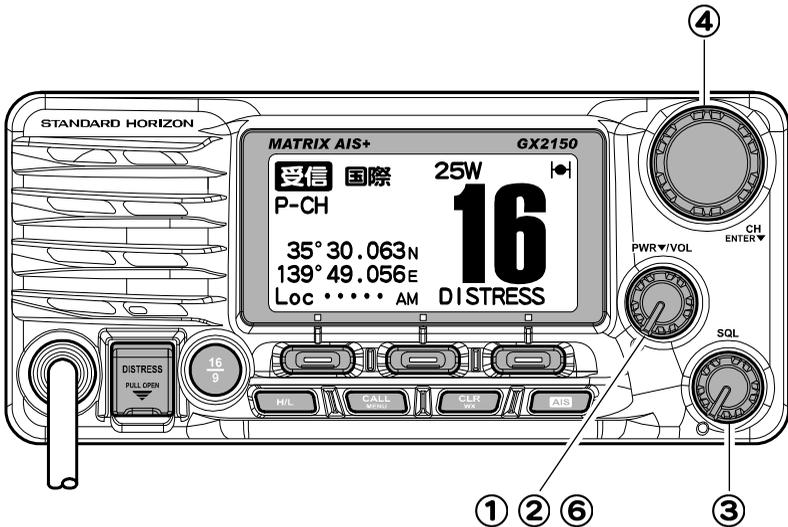
国際VHFはアマチュア無線や携帯電話と違い、遭難通信などの重要な通信を行うものです。また、我が国では、旅客船の定期運行通信、貨物運行などの業務通信、港の施設との航行安全の情報交換等、とても大切な通信も含まれます。運用ルールを守り、私用での通信は絶対に止めましょう。

私用通信により遭難等の通信を妨害した場合、懲役1年以上の有期懲役に処せられる場合があります。

操作早見表

下図の丸数字の番号順に従って操作すると、基本的な運用が行えます。

- ①電源が入るまで【PWR▼/VOL】ツマミを長く押します(電源“ON”)。
- ②【PWR▼/VOL】ツマミをまわして聞きやすい音量に調節します。
- ③【SQL】ツマミをまわして「ザー」という雑音が消える点に調節します。
- ④【CH/ENTER▼】ツマミをまわして希望のチャンネルを選びます。
- ⑤【PTT (送信ボタン)】このボタンを押しながら、マイクに向かって話します。
相手の話を聞くときは、このボタンを離します。
- ⑥電源が切れるまで【PWR▼/VOL】ツマミを長く押します(電源“OFF”)。



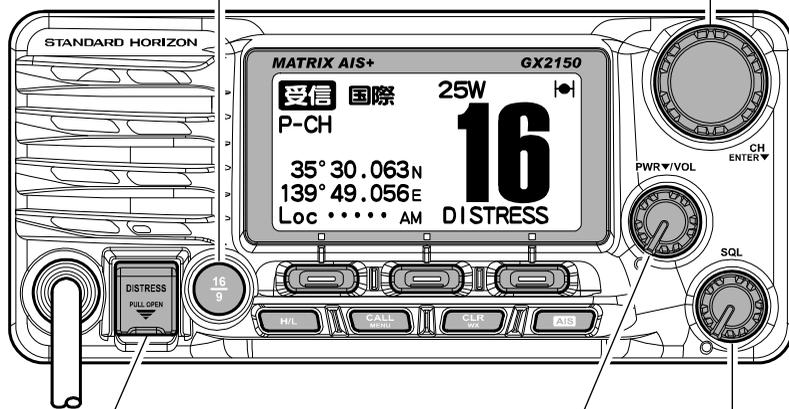
各部の名称と働き

【16/9】ボタン

- 短く押すと、緊急連絡用チャンネル“CH16”を呼び出すことができます。
- 長く押すと、呼び出し用チャンネル“CH9”を呼び出すことができます。

【CH/ENTER▼】ツマミ

- チャンネルを選びます。
- 「DSC」メニュー/「セットアップ」メニュー操作時、各種の項目を選び、ツマミを押して確定します。



【DISTRESS(遭難通報)】ボタン

遭難通報を送出します。
赤色のカバーをめくり、**中のボタンを約3秒間押し続ける**ことで、**遭難信号が送出されます。**

【PWR▼(電源)/VOL(音量)】ツマミ

- 電源を“ON”にするには、電源が入るまでツマミを長く押します。
- 電源を“OFF”にするには、電源が切れるまでツマミを長く押します。
- ツマミをまわして聞きやすい音量に調節します。

【SQL(スケルチ)】ツマミ

「ザー」という雑音が消える点に調節します。

【PTT(送信)】ボタン

このボタンを押しながら、マイクに向かって話します。

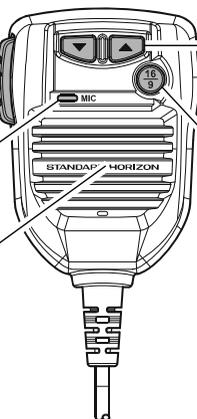
相手の話を聞くときは、このボタンを離します。

【マイク】

ここにに向かって話します。

【スピーカー】

ここから相手の声や操作音が聞こえます。



【[▼]/[▲]】ボタン

- チャンネルを選びます。
- “DSCメニュー”/“設定メニュー”操作時、各種の項目を選びます。

【16/9】ボタン

- 短く押すと、緊急連絡用チャンネル“CH16”を呼び出すことができます。
- 長く押すと、呼び出し用チャンネル“CH9”を呼び出すことができます。

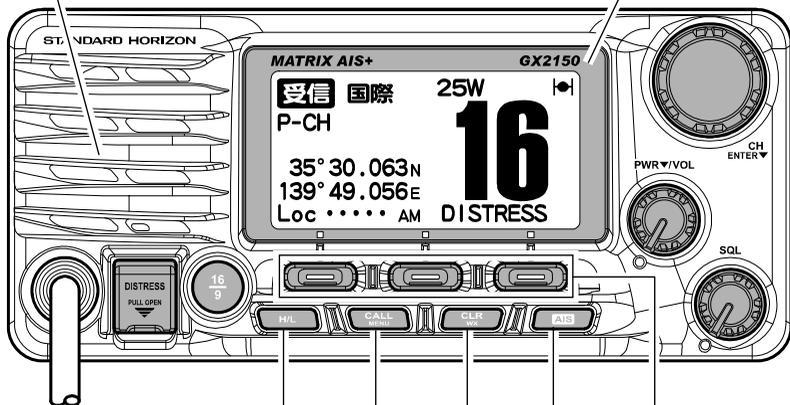
各部の名称と働き

【スピーカー】

ここから相手の声や操作音が聞こえます。

【液晶ディスプレイ】

運用チャンネルや各種の設定状態などを表示します。



【送信出力切替】ボタン

押すたびに、送信する電波の強さが「HI(25W)」「LOW(1W)」の2段階で切り替わります。

【ソフトキー】

各種機能の選択や設定を行うためのキーです。

【AIS】ボタン

AIS機能の選択や設定を行うためのキーです。

【CALL/MENU】ボタン

- 短く押すと、「DSC」メニューの機能項目を選ぶことができます。
- 長く押すと、「セットアップ」メニューの機能項目を選ぶことができます。

【CLR】ボタン

「DSC CALL」メニュー/「セットアップ」メニュー操作時、各種の項目を選び、設定をキャンセルしたいときに押します。

安全上のご注意 (必ずお読みください)

本機を安全に正しくお使いいただくために、必ずお読みください。

お客様または第三者の方が、この製品の誤使用・使用中に生じた故障・その他の不具合、あるいはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上、賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

マークの種類と意味



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的障害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の種類と意味



本機を安全にお使いになるため、行ってはならない禁止事項です。
たとえば、 は「分解禁止」を示しています。



本機を安全にお使いになるため、必ず守っていただきたい注意事項です。
たとえば、 は「電源ケーブルを外す」を示しています。

警告



分解や改造をしない。

本機は電波法に基づき無線局です。分解や改造をすると違法ですのでおやめください。また、怪我や故障の原因となります。



“煙が出ている”、“変な臭いがする”などの異常状態のまま使用すると、火災や故障の原因になります。

すぐに電源を切り、本機を電源から外してください。煙や変な臭いなどが出なくなったことを確認のうえ、お買い上げいただきました販売店へ修理をご依頼ください。



指定された電源電圧、電流容量以外では使用しない。

火災や感電の原因となります。



電源ケーブルは、直流電源に直接接続する。電源ケーブルの延長や継ぎ足しは、火災や故障の原因となります。

注意



磁気カードなどを本機に近づけない。

キャッシュカードやフロッピーディスクなどの内容が消去されることがあります。



電源ケーブルの上に重いものを載せたり、電源ケーブルを無理に曲げたり引っ張ったりしない。電源ケーブルが傷つき、火災や故障の原因になります。



本機を傾いた所や不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてケガの原因になることがあります。無線機の設置には必ず付属のブラケットを使用して、操船に支障の無い場所に取り付けてください。



強い衝撃を加えない。

故障の原因になります。



長期間に使用にならない場合には、安全のため、本機から電源を外してください。



直射日光のあたる場所や熱器具の近くに放置しない。

変形や変色等の原因になります。



シンナーやベンジンでケースを拭かない。

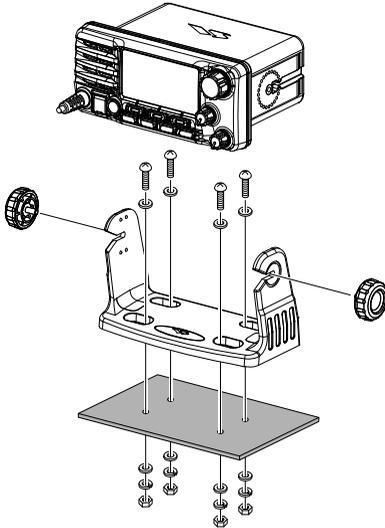
変形や変色等の原因になります。

ケースが汚れたときは、乾いた柔らかい布で軽く拭いて汚れを落としてください。

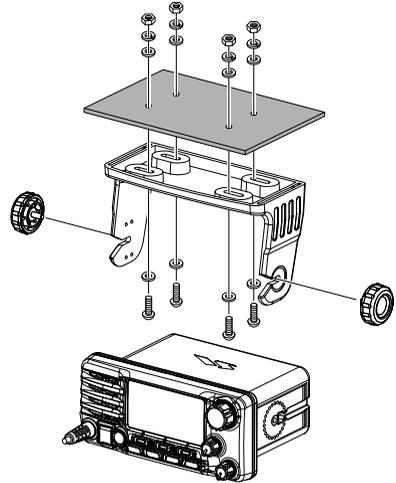
お使いになる前に (準備)

無線機の取り付け

付属のブラケットを使用して、操船に支障の無い場所に無線機を取り付けてください。ブラケットの取付方向を変えることにより、「据え置き型」、「吊り下げ型」どちらにも対応することができます。



据え置き型



吊り下げ型

⚠ ご注意 ⚠

- 取付位置は、安全と操作性に配慮してください。
- 直射日光の当たる場所や熱器具の付近に設置しないでください。
- 放熱の妨げにならないよう、周囲に十分スペースをとってください。
- 振動等で緩まないよう、ビスやブラケットツマミはしっかり締め付けてください。
- 故障や事故の原因になりますので、付属のビス/ブラケットツマミ以外は絶対に使用しないでください。

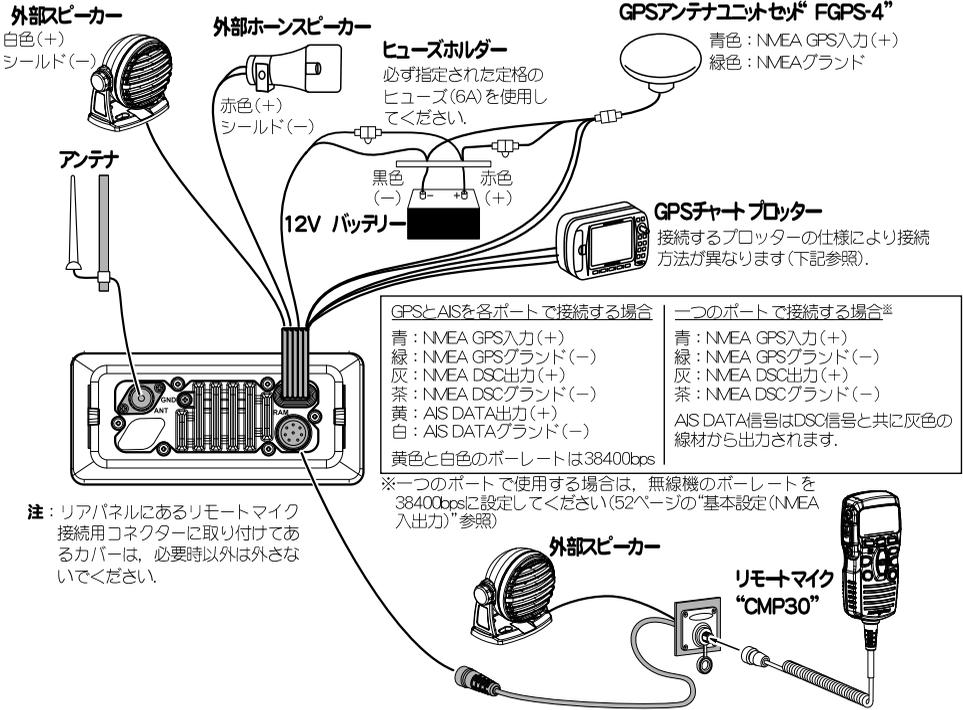
メモ

オプションの埋込設置用固定ブラケット“MMB-84”を使用すると、本機を船舶の操作パネルに埋め込んで設置することができます。詳しくは66ページを参照してください。

お使いになる前に (準備)

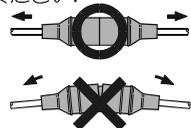
周辺機器の接続

下図を参考に、付属マイクロホン、アンテナ、電源、GPS機器などの周辺機器を接続します。



⚠️ ご注意 ⚠️

- 必ず12Vのバッテリーを使用してください。
- 交流電源(AC100V)でお使いになる場合は、オプションの固定用電源“FP-32”をご使用ください。FP-32の詳細な接続方法は、FP-32の取扱説明書をご覧ください。
- アンテナは、50Ωに調整されたVHFマリンバンド用のアンテナを使用してください。
- 外部ホーンスピーカー、外部スピーカー、GPSチャートプロッターを接続した際には、接続部分をビニールテープ等でしっかりと防水/絶縁処理を行ってください。
- CP300iの接続や使い方は「CP300i取扱説明書」を参照してください。
- 本機に入力可能なNMEA規格は、『NMEA-0183バージョン2.0以上』で、ポーレートは“4800bps/38400bps”です。
- 本機が対応しているNMEAセンテンスは、GLL, GGA, RMC, GNS, GSA, GSVの6通りです(RMCを推奨します)。
※GSA, GSVは、GPSステータス画面で使用するセンテンスです。
- 各ケーブルの配線は、操船に支障のないよう安全と操作性に配慮してください。
- ヒューズを交換する際には、右図(上)に示すように、ヒューズホルダーは左右まっすぐに引っ張って外してください。右図(下)に示したように、ヒューズホルダーに折り曲げるような力が加わると、ヒューズホルダーが壊れたり、接触不良を起こして電源が入らない場合があります。



お使いになる前に (準備)

MMSIの登録

GX2150JはDSC※1機能を搭載しています。

運用する前に免許状記載のMMSI番号※2を無線機に登録してください。

MMSI番号を無線機に登録しないとDSC機能を使用することができません。

お買い上げ後、電源を入れるとディスプレイに『警告文』が表示されます。

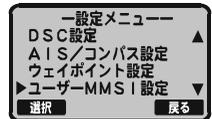


了解 のソフトキーを押すと通常画面に戻りますので、下記を参照しMMSI番号を登録してください。

MMSI番号を登録すると次回電源を入れても『警告文』は表示されません。

MMSI番号の入力方法は下記のように行います。

1. **CALL** ボタンを長く押し、**設定メニュー** にします。
2. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして「**ユーザーMMSI設定**」を選び、**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
3. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして、1桁目の数字を入力します。
4. **入力** のソフトキーを短く押し、次の桁へ移動します。



間違えて入力した場合は、**後進** (戻る)のソフトキー/**入力** (進む)で間違えた桁まで移動し、入力しなおしてください。

5. 操作3から操作4を繰り返し9桁まで入力します。

6. **入力** のソフトキーを長く押し、もう一度自局のID番号(MMSI番号)を入力します。



入力ミスがあると「！！入力エラー！！」

表示されますので、**入力** のソフトキーを短く押し、再度ID番号(MMSI番号)を入力してください。



7. **完了** のソフトキーを押して、登録完了です。

登録後、再入力は出来ません。

※: DSC (Digital Selective Calling): デジタル選択呼出

遭難通報等を送受信するための機能で、【DISTRESS】ボタンを押すことにより遭難メッセージを送信できる警報機能です。

※2: MMSI (Maritime Mobile Service Identity): 海上移動業務識別コード

DSC通信装置を搭載した船舶(または地上局)に認識番号として交付される数字9桁の識別コード番号です。

登録したユーザーMMSI番号は、お客様自身でリセット(消去)や再登録を行うことはできません。MMSI番号のリセット(有償)は、ご購入いただきました販売店にご相談ください。

使いかた

基本操作

1. **【PWR▼/VOL】**ツマミを長押しして、電源を“ON”にします。
電源を入れてすぐに『警告文』が表示された場合は、MMSIの登録を行ってください(11ページ参照)。
2. **【PWR▼/VOL】**ツマミを右回りにまわし、聞きやすい音量に調節します。
3. **【SQL】**ツマミを右回りにまわして、“ザー”という雑音が消える点に調節します。
4. **【CH/ENTER▼】**ツマミをまわして希望のチャンネルを選びます。
信号を受信すると、ディスプレイに「受信」の表示が点灯します。
マイクロホンの**【▼】/【▲】**ボタンでもチャンネルを選ぶことができます。
5. マイクロホンの**【PTT】**ボタンを押しながらマイクに向かって話します。
【PTT】ボタンを放すと、受信状態に戻り、相手の話を聞くことができます。
送信中はディスプレイに「送信」の表示が点灯します。
6. 本機の電源を切るときは、**【PWR▼/VOL】**ツマミを長押しすると、本機の電源が切れます。

ご注意

連続して送信できる時間は最大5分です。5分間連続して送信し続けると、送信が自動的に停止する10秒前に警告のブザーが鳴り、その後自動的に送信が停止します。

自動的に送信が停止したときには一度**【PTT】**ボタンを放し、10秒ほど経ってから再度**【PTT】**ボタンを押して送信してください(自動的に送信が停止したときは、送信停止後約10秒間**【PTT】**ボタンの操作ができないように設定されています)。

送信出力の切り替え

送信出力(電波の強さ)を“25W”/“1W”の2段階で切り替えることができます。運用規定に則り、設定してください。

-  ボタンを押すと、ディスプレイの「25W」表示が「1W」に変わり、送信出力が“1W”になります。
- もう一度  ボタンを押すと、ディスプレイの「1W」表示が「25W」表示に戻り、送信出力が“25W”に戻ります。



なお、この設定は、電源を切っても保持されます。

ご注意

- チャンネル“CH15”, “CH17”, “CH75”, “CH76”では、送信出力は自動的に“1W”に設定されます。
- チャンネル“CH16”では、送信出力を変更しても、次に呼び出したときは自動的に“25W”に設定されます。

照明ランプの明るさ調節

周囲の状況に合わせて照明ランプの明るさを調節することができます。夜間での運用時などで、照明ランプが明るすぎると感じたときに調節してください。

1.  ボタンを長く押しして、『設定メニュー』にします。
2. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして「基本設定」を選び、 のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
3. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして「照明」を選び、 のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
4. ディスプレイの表示が右のように変わり、照明ランプの明るさ調節が行えるようになります。
5. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして、好みの明るさに調節します。
6.  のソフトキーを押して調節完了です。
7.  のソフトキーを押して「基本設定」を終了します。
8.  のソフトキーを押して『設定メニュー』を終了して通常画面に戻ります。



使いかた

GPS表示について

本機にGPS受信機が接続されていなかったり、接続不良等によりGPSの信号が入力されていない場合には、右に示すように、位置表示(緯度/経度)と時間表示が全て“—”になってしまいます。

このようなときには、本機とGPS受信機が正しく接続されているか、もう一度確認してください。本機がGPSの信号を正しく受信すると、ディスプレイに現在の位置(緯度/経度)と時刻を表示します。

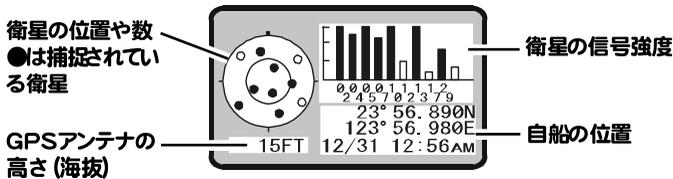
また、何らかの原因で、今まで受信できていたGPSの信号が急に受信できなくなったときには、ディスプレイ右上の“”アイコンが点滅しますので、このような場合も、本機とGPS受信機が正しく接続されているか、もう一度確認してください。

- 本機を初めて使用する場合等、GPSの信号を捕捉するのに数分かかる場合があります。
- 周囲の環境により、位置表示に数百mの誤差を生じることがあります。



GPSステータス表示*について

現在受信できる衛星の信号強度、数、位置等を確認することができます。確認の仕方は下記の操作で行ってください。



1.  ボタンを長押しして、— 設定メニュー —にします。
2. **[CH/ENTER▼]**ツマミをまわして『基本設定』を選び、**[選択]**のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]**ツマミ)を押します。
3. **[CH/ENTER▼]**ツマミをまわして「画面」を選び、**[選択]**のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]**ツマミ)を押します。
4. **[CH/ENTER▼]**ツマミをまわして「GPSステータス」を選び、**[入力]**のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]**ツマミ)を押します。
5. ディスプレイの表示が右のように変わり、GPSステータス表示になります。
6. キー類を操作すると、ディスプレイの表示が通常画面に戻ります。



※ : NMEA DATAの“GSA”または“GSV”データを受信しているときのみ表示可能です。

その他の機能と操作

プリセットチャンネル

よく使うチャンネルを、最大10個までメモリー(プリセット)して使うことができます。プリセットチャンネルを使うと、普段よく使うチャンネルをすばやく呼び出すことができます。

プリセットチャンネルの設定方法

1. **【CH/ENTER▼】**ツマミをまわして、メモリー(プリセット)したいチャンネルを呼び出します。
2. いずれかのソフトキーを押すとキーファンクションがディスプレイに3秒間表示され、その間に**プリセット**のソフトキーを長く押します。
3. **【CH/ENTER▼】**ツマミをまわしてプリセットチャンネル(SET 0~SET 9)を選択します。
4. **追加**のソフトキーを押すとメモリー(プリセット)されます。
5. 上記の操作 1. と 4. を繰り返し、他のチャンネルもメモリー(プリセット)します。
最大10チャンネルまでメモリー(プリセット)できます。



プリセットチャンネルの使いかた

1. いずれかのソフトキーを押すとキーファンクションがディスプレイに3秒間表示され、その間に**プリセット**のソフトキーを短く押します。
2. **【CH/ENTER▼】**ツマミをまわして、プリセットチャンネルを選択します。
ディスプレイに「**プリセット**」のアイコンが点灯するとともに、プリセットチャンネルを約5秒間表示します。



プリセットチャンネルの解除

いずれかのソフトキーを押すとキーファンクションがディスプレイに3秒間表示され、その間に**プリセット**のソフトキーを短く押します。
通常の表示に戻ります。



その他の機能と操作

プリセットチャンネル (つづき)

プリセットチャンネルの消しかた

プリセットチャンネルは以下の方法で消すことができます。

1. いずれかのソフトキーを押すとキーファンクションがディスプレイに3秒間表示され、その間に **プリセット** のソフトキーを短く押します。
プリセットチャンネルが表示されます。
2. いずれかのソフトキーを押すとキーファンクションがディスプレイに3秒間表示され、その間に **プリセット** のソフトキーを長く押します。
プリセットチャンネル消去画面が表示されます。
3. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして、消したいプリセットチャンネルを呼び出します。
4. **削除** のソフトキーを押すと消去されます。
5. 他のプリセットチャンネルを消去したい場合は、上記の操作1. から3. を繰り返します。
6. **戻る** のソフトキーを押します。
プリセットチャンネル消去画面からプリセットチャンネル画面に戻ります。



その他の機能と操作

スキャン(SCAN)操作

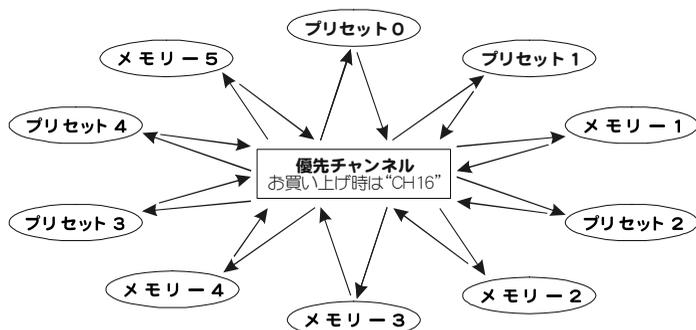
あらかじめ設定された“優先チャンネル”（お買い上げ時は“CH16”）、プリセットチャンネルおよび、メモリーチャンネルを自動的に順番に受信し、信号があるチャンネルを探し出す操作です。

- いずれかのソフトキーを押すとキーファンクションがディスプレイに3秒間表示され、その間に **メモ** のソフトキーを押します。

あらかじめ設定された“優先チャンネル”（お買い上げ時は“CH16”）、プリセットチャンネルおよび、メモリーチャンネルを自動的に順番に受信します。

ディスプレイに「P-スキャン」の表示が点灯します。また、プリセットチャンネルを受信しているときには「プリセット」のアイコンが点灯します。

下図に示すように、“優先チャンネル”を間に挟んで、プリセットチャンネルとメモリーチャンネルを順番に受信していきます。



- スキャン操作を止めるには、**CLR** ボタンを押します。「P-スキャン」の表示が消えて、通常の運用方法に戻ります。



メモ

- プリセットチャンネルとメモリーチャンネルだけをスキャンするように変更できます。詳しくは53ページの設定メニュー操作「CH機能設定(スキャンタイプ)」をご覧ください。
- “優先チャンネル”（プライオリティーチャンネル：お買い上げ時は“CH16”）を変更することができます。詳しくは54ページの設定メニュー操作「CH機能設定(プライオリティーCH)」をご覧ください。

その他の機能と操作

2波受信(DW:デュアルワッチ)

あらかじめ設定された“優先チャンネル”と、現在表示しているチャンネルを交互に受信することができます。お買い上げ時には、“優先チャンネル”は緊急連絡用チャンネル“CH16”に設定してあります。

1. いずれかのソフトキーを押すとキーファンクションがディスプレイに3秒間表示され、その間に **次へ** のソフトキーを押します。

次へ のソフトキーを押すと他のファンクションを表示することができます。

2. **2波** のソフトキーを押すと、現在表示しているチャンネルと“優先チャンネル”（お買い上げ時は“CH16”）を交互に受信します。

ディスプレイに「**2波16CH**」の表示が点灯します。

3. “優先チャンネル”（お買い上げ時は“CH16”）に信号が入ると、その信号を受信し続けます。このとき、チャンネル表示は点滅します。

4. “優先チャンネル”の信号がなくなると、再び2つのチャンネルを交互に受信します。



2波受信を止めて、通常の運用方法に戻すには **CLR MAX** ボタンを押します。

メモ

“優先チャンネル”（プライオリティーチャンネル）の変更は設定メニュー操作で行います。詳しくは54ページの設定メニュー操作「CH機能設定（プライオリティーCH）」をご覧ください。

その他の機能と操作

霧笛機能

オプションの外部ホーンスピーカーを接続すると、外部ホーンスピーカーから8種類の霧笛音を送出することができます。

1. あらかじめ、下記の設定メニューを設定しておきます。
『基本設定』→『ソフトキー』→『キー割り当て』→『**キー 4**』:汽笛に設定しておきます(設定方法は53ページを参照してください)。
2. いずれかのソフトキーを押すとキーファンクションがディスプレイに3秒間表示され、その間に **次へ** のソフトキーを押します。
次へ のソフトキーを押すと他のファンクションを表示することができます。
3. **汽笛** のソフトキーを押します。
4. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして**【霧笛】**選択し、**選択** のソフトキーを押します。
5. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして送りたい霧笛音を選びます。
選択できる霧笛音は以下の8種類です(鳴動パターンは次ページを参照してください)。
「航行中」、「停止」、「帆走」、「曳航」、「座礁」、「停泊」、「警笛」、「サイレン」
6. **入力** のソフトキーを押すと、霧笛音が外部ホーンスピーカーから送られます。
「警笛」と「サイレン」は、マイクロホンの**【PTT(送信)】**ボタンを押している間だけ「警笛音」または「サイレン音」を送出します。
7. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして、霧笛音の音量を調節します。
[CH/ENTER▼] ツマミの操作にあわせて、ディスプレイの音量レベル表示が変化します。
8. マイクロホンの**【PTT(送信)】**ボタンを離すと、周囲の音をモニターすることができます。
モニター音の音量は**【PWR▼/VOL】** ツマミで調節します。
9. **[CLR]** ボタンを押すと、霧笛機能は“オフ”になります。

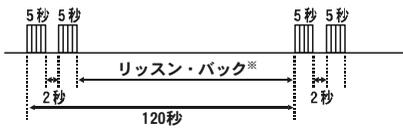
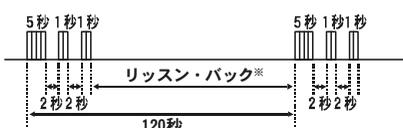
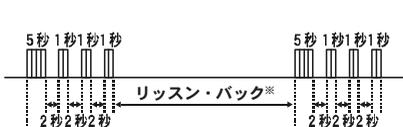
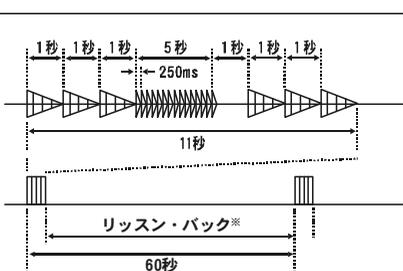
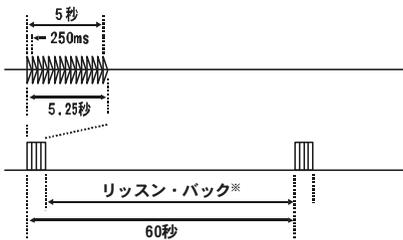


メモ

霧笛音の音程は設定メニュー操作で変更することができます。詳しくは52ページの設定メニュー操作「基本設定(霧笛音)」をご覧ください。

その他の機能と操作

霧笛機能 (つづき)

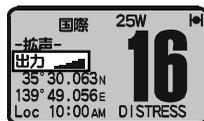
鳴動パターン	
航行中	 <p>2分毎に、警笛を5秒間発します。警笛を発していないときは、外部ホーンスピーカーを通して周囲の音をモニターします(リッスンバック機能)。</p>
停止	 <p>2分毎に、警笛を2回(2秒間隔で5秒間)発します。警笛を発していないときは、外部ホーンスピーカーを通して周囲の音をモニターします(リッスンバック機能)。</p>
帆走	 <p>2分毎に、警笛を3回(5秒間を1回、1秒間を2回、それぞれ2秒間隔)発します。警笛を発していないときは、外部ホーンスピーカーを通して周囲の音をモニターします(リッスンバック機能)。</p>
曳航	 <p>2分毎に、警笛を4回(5秒間を1回、1秒間を3回、それぞれ2秒間隔)発します。警笛を発していないときは、外部ホーンスピーカーを通して周囲の音をモニターします(リッスンバック機能)。</p>
座礁	 <p>1分毎に、警鐘を11秒間発します。警鐘を発していないときは、外部ホーンスピーカーを通して周囲の音をモニターします(リッスンバック機能)。</p>
停泊	 <p>1分毎に、警鐘を5秒間発します。警鐘を発していないときは、外部ホーンスピーカーを通して周囲の音をモニターします(リッスンバック機能)。</p>

その他の機能と操作

拡声器機能

オプションの外部ホーンスピーカーを接続すると、マイクロホンからの音声を外部ホーンスピーカーから出力させることができます。また、拡声器機能が動作しているときは、外部ホーンスピーカーを通して周囲の音をモニターすることができます。

1. あらかじめ、下記の設定メニューを設定しておきます。
『基本設定』→『ソフトキー』→『キー割り当て』→『[キー4]: 汽笛』に設定しておきます(設定方法は53ページを参照してください)。
2. いずれかのソフトキーを押すとキーファンクションがディスプレイに3秒間表示され、その間に **次へ** のソフトキーを押します。
次へ のソフトキーを押すと他のファンクションを表示することができます。
3. **汽笛** のソフトキーを押します。
4. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして **[拡声]** 選択し、**選択** のソフトキー(または **[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
ディスプレイに「-拡声-」の表示が点灯し、拡声器機能が動作します。
5. マイクロホンの **[PTT (送信)]** ボタンを押しながらマイクに向かって話すと、外部ホーンスピーカーから音声が出力されます。
6. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして、外部ホーンスピーカーの音量を調節します。
[CH/ENTER▼] ツマミの操作にあわせて、ディスプレイの音量レベル表示が変化します。
7. マイクロホンの **[PTT (送信)]** ボタンを離すと、周囲の音をモニターすることができます。
モニター音の音量は **[PWR▼/VOL]** ツマミで調節します。
8. **[CLR WX]** ボタンを押すと、「-拡声-」表示が消えて拡声器機能は“オフ”になります。



その他の機能と操作

内線通話機能

オプションのリモートマイク“CMP30”を接続すると、無線機本体とリモートマイク間で内線通話が行えます(リモートマイク側は英語表示になります)。

1. あらかじめ、下記の設定メニューを設定しておきます。
『基本設定』→『ソフトキー』→『キー割り当て』→『キー4]: 汽笛』に設定しておきます(設定方法は53ページを参照してください)。
2. いずれかのソフトキーを押すとキーファンクションがディスプレイに3秒間表示され、その間に **次へ** のソフトキーを押します。
次へ のソフトキーを押すと他のファンクションを表示することができます。
3. **内線** のソフトキーを押します。
4. **【エンター】** ボタンを押すと、相手と内線通話が行えます。
5. マイクロホンの**【PTT (送信)】** ボタンを押しながらマイクに向かって話します。
ディスプレイに**「出力」**の表示が点灯します。
【PTT (送信)】 ボタンを離すと、受信状態に戻り、相手の話を聞くことができます。
6. 相手から応答があると、ディスプレイに**「応答」**の表示が点灯し、相手の話を聞くことができます。音量は**【VOL】** ツマミで調節します。
相手が送話中にマイクロホンの**【PTT (送信)】** ボタンを押すと、「プー」と警告音を発します。
7. 内線通話機能が動作中に **コール** のソフトキーを押すと、相手に呼び出し音を送ることができます。
8. **CLR** ボタンを押すと、内線通話機能は“オフ”になります。



(内線機能動作時の表示)



(GX2150JのPTTスイッチを押したとき)



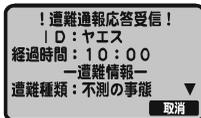
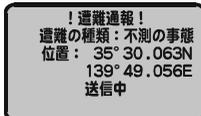
(CMP30のPTTスイッチを押したとき)

遭難通報

『遭難通報』の出しかた

自船で、生命を危険にさらすような状況が生じた場合には、下記の手順で『遭難通報』を送出してください。

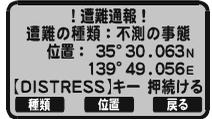
1. **[DISTRESS]**の赤いカバーをめくり、中の**[DISTRESS]**ボタンを押し続けます。
ディスプレイの照明ランプが点滅し、アラーム音が鳴ります。
2. **[DISTRESS]**ボタンを押し続けると(約3秒間)、ディスプレイの表示が右に示すような表示に変わり『遭難通報』を送出します。
3. チャンネルが自動的に緊急連絡用チャンネル“CH16”になり、他船からの応答を待ちます。
他船からの応答が無い場合には、約4分後に再度『遭難通報』を送出します(他船から応答があるまで、自動的に繰り返し『遭難通報』を送出します)。
4. 他船からの『応答メッセージ』を受信すると、ディスプレイの表示が右に示すような表示に変わり、着信音が鳴ります。
5. いずれかのソフトキーを押すと着信音が止まります。
6. **[了解]**のソフトキーを押します。
CH16にて通常表示になります。
7. マイクホンの**[PTT(送信)]**ボタンを押しながらマイクに向かって、次の情報をゆっくり、はっきり伝えます。
 - 1) メーカー、メーカー、メーカー
 - 2) こちらは「船名または自船のID番号」です。(3回繰り返します)
 - 3) メーカー
 - 4) こちらは「船名または自船のID番号」です。
 - 5) 自船の位置(緯度/経度)
 - 6) 遭難の状況
 - 7) 要請する救助次項
 - 8) 救助を待つ人数
 - 9) その他、救助の役に立つ情報(船の大きさ、色、タイプなど)
 - 10) どうぞ



『遭難通報』の出しかた(つづき)

□ 遭難原因を指定して『遭難通報』を送出することができます。

1. 【DISTRESS】の赤いカバーをめくり、中の【DISTRESS】ボタンを短く押します。
2. **種類** のソフトキーを押します。
3. 【CH/ENTER▼】ツマミをまわして遭難原因を選びます。
『不測の事態』、『火災』、『浸水』、『衝突』、『座礁』、『転覆』、『沈没』、『漂流』、『放棄』、『海賊』、『落水』の中から選びます。
4. 【DISTRESS】ボタンを押し続けます。
ディスプレイの表示が右に示すような表示に変わり、『遭難通報』を送出します。



以後動作は、前ページの操作**3**以降の動作と同じです。

□ 遭難位置を手動で送することができます。

『遭難通報』を送出時に自分(自船)の位置(緯度/経度)を自動で送われます。ただし、FGPS-4が接続されていないか、または他のGPS受信機から位置情報(NMEAデータ)が入力されていないと自動で自分(自船)の位置(緯度/経度)を送出することができません。FGPS-4または他のGPS受信機が接続されていない場合は、下記のように手動で入力/送することができます。

1. 【DISTRESS】の赤いカバーをめくり、中の【DISTRESS】ボタンを短く押します。
2. **位置** のソフトキーを押します。
3. 「位置」と「位置時間」を入力します。
【CH/ENTER▼】ツマミまわして数字を選択し、**入力** のソフトキー(または【CH/ENTER▼】ツマミ)を短く押して桁の移動します。
後進 のソフトキーを押すと一つ前の桁に移動しID番号を修正することができます。
4. **入力** のソフトキーを長く押して入力は終了します。
5. 【DISTRESS】ボタンを押し続けます。
ディスプレイの表示が右に示すような表示に変わり、『遭難通報』を送出します。



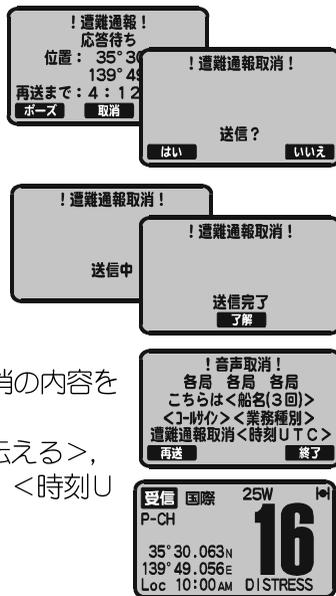
以後動作は、前ページの操作**3**以降の動作と同じです。

遭難通報

『遭難通報』の出しかた(つづき)

□ 誤って『遭難通報』を送出してしまったときは、他船からの応答を待っている間に(前ページの操作3. のときに)下記の操作を行い、『遭難通報取消』を送出してください。

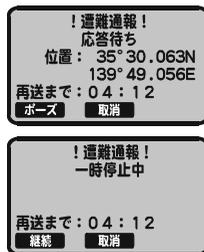
1. **取消** のソフトキーを押します。
2. **はい** のソフトキーを押します。
ディスプレイの表示が右に示すような表示に変わり、『遭難通報取消』を送出します。
3. 『遭難通報取消』の送出手続きが完了すると、ディスプレイの表示が右に示すような表示に変わります。
4. **了解** のソフトキーを押します。
5. マイクロホンの【送信(PTT)】を押しながらディスプレイに記載されている例文を読み音声で取消の内容を伝えてください。
「各局、各局、各局、こちらは <自分の船名を3回伝える>、<コールサイン> <業務種別> **遭難通報取消** <時刻UTC>」
通常の運用方法に戻ります。
6. **終了** のソフトキーを押します。



遭難通報自動送出機能を一時的に中断する

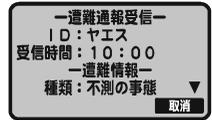
『遭難通報』の呼び出しが伝えられた後に、“呼び出しが船舶局によって中止される”または“他船の無線機の電源が再びON/OFFされる”まで、自動的に『遭難通報』を4分毎に繰り返され送出されます。この機能を以下の手順で再送を中断させることができます。

1. 遭難通報が送出された後に、ディスプレイの表示が右に示すような表示に変わります。
「再送まで:04:12」は、次回遭難通報を4分12秒毎に送出することを表します。
2. 遭難通報の再送を中断させる場合は、**ポーズ** のソフトキーを押して再送カウントダウンを止めます。
3. 遭難通報を再開する場合は、**継続** のソフトキーを押します。



『遭難通報』を受信すると...

1. 他船からの『遭難通報』を受信すると、アラーム音が鳴るとともに、ディスプレイの表示が右に示すような表示に変わります。
2. **取消** のソフトキーを押してアラーム音を止めます。他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。
3. **【CH/ENTER▼】** ツマミをまわすと、『遭難通報』を送出した局(船)の位置情報などの詳細情報を見ることができます。
4. 下記のソフトキーにより各機能が動作します。
 - 受入** : 受信するチャンネルが自動的に、緊急連絡用チャンネル“CH16”に変わります※1。
注意: 遭難通報を受信後、30秒※2経つと自動的に“CH16”に変わります。
 - ポーズ** : 一時、CH16への移行を中断させます。
 - 戻る** : 通常表示に戻ります。
5. **戻る** のソフトキーを押すと、通常表示に戻ります。
6. 必要に応じて、連絡を取ります。



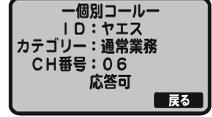
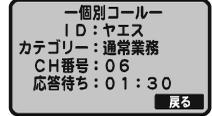
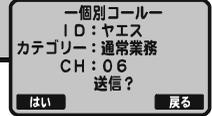
- ※1: 『遭難通報』を送出時に自分(自船)の位置(緯度/経度)も送出されます。ただし、FGPS-4が接続されていないか、または他のGPS受信機から位置情報(NMEAデータ)が入力されていないと自動で自分(自船)の位置(緯度/経度)を送出することができません。FGPS-4または他のGPS受信機が接続されていない場合は、『設定メニュー』→『DSC設定』→『位置情報入力』により手動で入力/送出することができます。入力方法は59ページを参照してください。
- ※2: 設定メニュー『DSC設定』の『自動CH切替時間』にて切替時間を変更することができます。

個別コール

『個別コール』のしかた

下記の手順で、特定の船舶局を個別に呼び出すことができます。

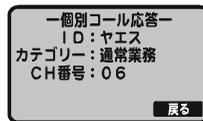
1. **CALL** ボタンを短く押します。
2. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして「個別コール」を選び、**選択** のソフトキー（または**[CH/ENTER▼]** ツマミ）を押します。
3. **新規ID** のソフトキーを押して、**[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして「マニュアル」を選び、ソフトキーの**選択**（または**[CH/ENTER▼]** ツマミ）を押します。
あらかじめ、呼び出したい船舶局が「個別アドレス帳」に登録してある場合は、その局を選んで**選択** のソフトキーを押し、操作5.へ進みます。（登録方法は55ページの“DSC設定(個別アドレス帳)”を参照してください）。
4. **[CH/ENTER▼]** ツマミ(数字の選択)と**選択** のソフトキー（または**[CH/ENTER▼]** ツマミ）を押します(桁の移動)を操作して呼び出したい局のID番号(9桁)を入力し、最後に**選択** のソフトキー（または**[CH/ENTER▼]** ツマミ）を長押しして確定します。**後進** のソフトキーを押すと一つ前の桁に移動しID番号を修正することができます。
5. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして通話チャンネルを選び、**選択** のソフトキー（または**[CH/ENTER▼]** ツマミ）を押します。
6. **はい** のソフトキー（または**[CH/ENTER▼]** ツマミ）を押します。
自動的に送信状態になって相手局を呼び出し、その後、呼び出した局からの応答を待ちます。
7. 呼び出した局からの『**応答メッセージ**』を受信すると、呼び出し音が鳴るとともに、チャンネルが自動的に上記の操作4.で設定したチャンネルに移ります。
8. **戻る** のソフトキー（または**[CH/ENTER▼]** ツマミ）を押してアラーム音を止めます。
他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。
9. もう一度**戻る** のソフトキー（または**[CH/ENTER▼]** ツマミ）を押すと、通常の運用方法に戻ります。
10. マイクロホンの**送信(PTT)** ボタンを押しながらマイクに向かって、呼び出した局と交信します。



『個別コール』を受けると...

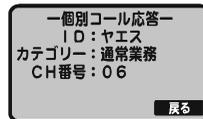
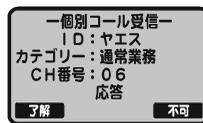
個別コール応答機能が「自動」の場合

1. 他船からの『個別コール』を受けると、アラーム音が鳴るとともに、ディスプレイに『個別コール』を行った局のID番号（または船名）を表示します。また、チャンネルが自動的に、『個別コール』を行った局が指定したチャンネルに変わります。
2. **戻る** のソフトキー（または【CH/ENTER▼】ツマミ）を押してアラーム音を止めます。他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。
3. もう一度 **戻る** のソフトキー（または【CH/ENTER▼】ツマミ）を押すと、通常の運用方法に戻ります。
4. **送信(PTT)** ボタンを押しながらマイクに向かって、『個別コール』を行った局と交信します。



個別コール応答機能が「手動」の場合

1. 他船からの『個別コール』を受けると、アラーム音が鳴るとともに、ディスプレイに『個別コール』を行った局のID番号（または船名）を表示します。
2. いずれかのソフトキーを押してアラーム音を止めます。他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。
3. **受入** のソフトキーを押します。個別コールで指定されたチャンネルに移行されます。
4. 応答できないときには **不可** のソフトキーを押します。『個別コール』を行った局に対して「応答不可」のメッセージを送り、通常の運用方法に戻ります（以上で操作は終了です）。
5. 応答可能なときには **応答** のソフトキー（または【CH/ENTER▼】ツマミ）を押します。チャンネルが自動的に、『個別コール』を行った局が指定したチャンネルに変わり、『個別コール』を行った局に対して「応答可」のメッセージを送ります。
6. **戻る** のソフトキー（または【CH/ENTER▼】ツマミ）を押すと、通常の運用方法に戻ります。
7. **送信(PTT)** ボタンを押しながらマイクに向かって、『個別コール』を行った局と交信します。



メモ

自動応答機能の“ON/OFF”切り替えは、設定メニュー操作で行います。詳しくは56ページの設定メニュー操作「DSC設定(個別コール応答)」をご覧ください。お買い上げ時は、応答機能“ON(自動)”に設定されています。

グループコール

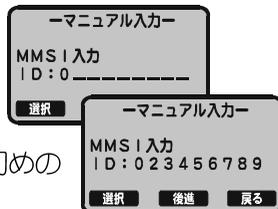
『グループコール』のしかた

下記の手順で、特定の船舶局をグループ単位で呼び出すことができます。

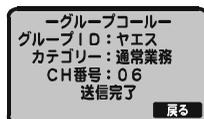
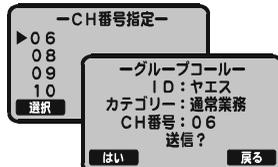
1. **CALL** ボタンを短く押します。
2. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして『グループコール』を選び、**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
3. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして『マニュアル』を選び、**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
あらかじめ、呼び出したいグループが「グループアドレス帳」に登録してある場合は、そのグループを選んで**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押し、操作5.へ進みます。(登録方法は57ページの“DSC設定(グループアドレス帳)”を参照してください)。



4. **[CH/ENTER▼]** ツマミ(数字の選択)と**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)(桁の移動)を操作して呼び出したい局のID番号(9桁)を入力し、最後に**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を長押しして確定します(グループ番号は、初めの桁が“0”に固定されます)。
後進 のソフトキーを押すと一つ前の桁に移動しID番号を修正することができます。



5. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして通話チャンネルを選び、**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
6. もう一度**はい** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
『グループコール』を送出し、チャンネルが自動的に上記の操作5.で設定したチャンネルに移ります。
7. **戻る** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
通常の運用方法に戻ります。
8. マイクロホンの**送信(PTT)** ボタンを押しながらマイクに向かって、呼び出したグループと交信します。



グループコール

『グループコール』を受けると...

1. 他船からの『グループコール』を受けると、アラーム音が鳴るとともに、ディスプレイにグループ名(またはID番号)を表示します。
2. **戻る** のソフトキーを押してアラーム音を止めます。
他のボタンを押しても、アラーム音は止まります。
3. 下記のソフトキーにより各機能が動作します。



- 受入** : グループコールで指定されたチャンネルに移行します。
注意: グループコールを受けた後、30秒※経つと自動的に指定チャンネルに切り変わります。
- ポーズ** : 表示チャンネルで通話可能とし、通話終了後 **継続** のソフトキーを押すと、指定チャンネルへCH16へ移行します。
- 戻る** : 通常の見出しに戻ります。



4. **受入** のソフトキーを押すと、通常の運用方法に戻ります。

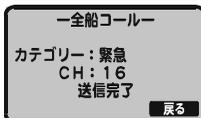
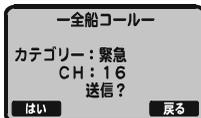
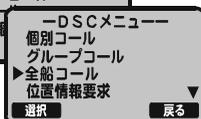
※: 設定メニュー『DSC設定』の『自動CH切替時間』にて切替時間を変更することができます。

全船コール

『全船コール』のしかた

自船でエンジン・トラブルなどの緊急事態が生じた場合には、下記の手順で『全船コール』を送出して、救援を要請してください。

1. **CALL MENU** ボタンを短く押します。
2. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして『全船コール』を選び、**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
3. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわしてカテゴリー(「安全」または「緊急」)を選び、**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
4. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして通話チャンネルを選び、**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
5. **はい** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
『全船コール』を送出し、チャンネルが自動的に上記の操作 4. で設定したチャンネルに移ります。
6. **戻る** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
ディスプレイの表示が、通常表示に戻ります。
7. マイクロホンの**[送信(PTT)]** ボタンを押しながらマイクに向かって、次の情報をゆっくり、はっきり伝えます。
 - 1) メーデー、メーデー、メーデー
 - 2) こちらは「船名または自船のID番号」です。(3回繰り返します)
 - 3) メーデー
 - 4) こちらは「船名または自船のID番号」です。
 - 5) 自船の位置(緯度/経度)
 - 6) 遭難の状況
 - 7) 要請する救助次項
 - 8) 救助を待つ人数
 - 9) その他、救助の役に立つ情報(船の大きさ、色、タイプなど)
 - 10) どうぞ



『全船コール』を受けると...

1. 他船からの『全船コール』を受けると、アラーム音が鳴るとともに、ディスプレイに『全船コール』を行った局の船名(またはID番号)を表示します。
2. **戻る** のソフトキーを押してアラーム音を止めます。
他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。
3. 下記のソフトキーにより各機能が動作します。

受入 : 全船コールで指定されたチャンネルに移行します。

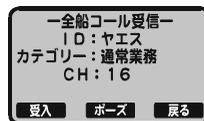
注意:全船コールを受けた後、30秒*経つと自動的に指定チャンネルに切り変わります。

ポーズ : 表示チャンネルで通話可能とし、通話終了後 **継続** のソフトキーを押すと、指定チャンネルへCH16へ移行します。

戻る : 通常の見出しに戻ります。

4. **受入** のソフトキーを押します。
通常の見出しに戻ります。

※ : 設定メニュー『DSC設定』の『自動CH切替時間』にて切替時間を変更することができます。



位置情報要求

『位置情報要求』のしかた

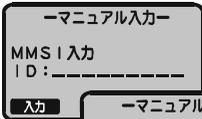
下記の手順で、特定の局(船舶局)の現在位置(緯度/経度)を知ることができます。

- CALL** ボタンを短く押します。
- 【CH/ENTER▼】**ツマミをまわして『位置情報要求』を選び、**選択** のソフトキー(または**【CH/ENTER▼】** ツマミ)を押します。
- 【CH/ENTER▼】**ツマミをまわして『マニュアル』を選び、**選択** のソフトキー(または**【CH/ENTER▼】**ツマミ)を押します。

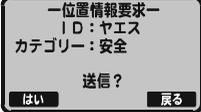
あらかじめ、現在位置を知りたい局(船舶)が「個別アドレス帳」に登録してある場合は、その局を選んで**選択**のソフトキー(または**【CH/ENTER▼】**ツマミ)を押し、操作5.へ進みます。(登録方法は55ページの“DSC設定(個別アドレス帳)”を参照してください)。


- 【CH/ENTER▼】**ツマミ(数字の選択)と**選択**のソフトキー(または**【CH/ENTER▼】**ツマミ)を押します(桁の移動)を操作して呼び出したい局のID番号(9桁)を入力し、最後に**選択**のソフトキー(または**【CH/ENTER▼】**ツマミ)を長押しして確定します。

後進のソフトキーを押すと一つ前の桁に移動しID番号を修正することができます。

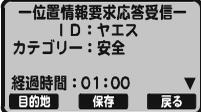

- はい**のソフトキー(または**【CH/ENTER▼】**ツマミ)を押します。

『位置情報要求』を送出し、呼び出した局からの応答を待ちます。


- 呼び出した局から応答があると、呼び出し音が鳴るとともに、ディスプレイに呼び出した局の現在位置(緯度/経度)を表示します。

目的地のソフトキーを押すと、受信した位置情報を目的地に設定します。

保存のソフトキーを押すと、受信した位置情報をウェイポイントの目的地として保存します。


- 戻る**のソフトキー(または**【CH/ENTER▼】**ツマミ)を押してアラーム音を止めます。

他のボタンを押しても、アラーム音は止まります。
- もう一度**戻る**のソフトキーを押します。

通常の運用方法に戻ります。

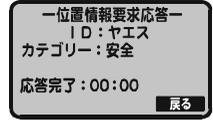
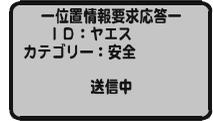


位置情報要求

『位置情報要求』を受けると...

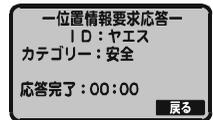
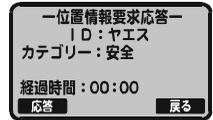
位置情報要求応答機能が“自動”の場合

1. 他船からの『位置情報要求』を受けると、ディスプレイに「位置情報要求受信」を表示しアラーム音が鳴るとともに、自船の位置情報を送出します。
2. **戻る** のソフトキーを押します(または、10秒で通常表示に戻ります)。通常の運用方法に戻ります。



位置情報要求応答機能が“手動”の場合

1. 他船からの『位置情報要求』を受けると、アラーム音が鳴るとともに、ディスプレイに『位置情報要求』を行った局のID番号(または船名)を表示します。
2. いずれかのソフトキーを押してアラーム音を止めます。他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。
3. 位置情報を知らせたくないときには **戻る** のソフトキーを押します。通常の運用方法に戻ります(以上で操作は終了です)。
4. 位置情報を知らせてもよいときには **応答** のソフトキー(または **[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。『位置情報要求』を行った局に対して自船の位置情報を送出します。
5. **戻る** のソフトキーを押すと、通常の運用方法に戻ります。



メモ

位置情報要求応答機能の“自動/手動”切り替えは、設定メニュー操作で行います。詳しくは59ページの設定メニュー操作「DSC設定(位置情報要求応答)」をご覧ください。お買い上げ時は、応答機能“自動”に設定されています。

位置情報送信

『位置情報送信』のしかた

下記の手順で、特定の船舶局または海岸局に、自船の現在位置(緯度/経度)を知らせることができます。

1. **CALL MENU** ボタンを短く押します。
2. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして『位置情報送信』を選び、**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
3. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして『マニュアル』を選び、**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
あらかじめ、自船の位置情報を伝えたい相手局(船舶局または海岸局)が「個別アドレス帳」に登録してある場合は、その局を選んで **選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押し、操作5.へ進みます。(登録方法は55ページの“DSC設定(個別アドレス帳)”を参照してください)。
4. **[CH/ENTER▼]** ツマミ(数字の選択)と **選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します(桁の移動)を操作して呼び出したい局のID番号(9桁)を入力し、最後に **選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を長押しして確定します。
後進 のソフトキーを押すと一つ前の桁に移動しID番号を修正することができます。
5. **はい** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
相手局に自船の現在位置を送出します。
6. **戻る** のソフトキーを押します。
通常の運用方法に戻ります。



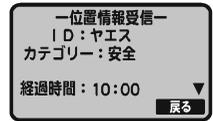
メモ

設定メニュー操作の「位置情報送信タイマー」を設定すると、最後に「位置情報送信」を行った局に対して、一定の時間間隔で自局の位置情報(現在位置:緯度経度)を自動的に送出することができます。自船の航跡を知らせたい場合に大変便利な機能です(お買い上げ時は「マニュアル」に設定されています)。詳しい設定方法は、58ページの設定メニュー操作「DSC設定(位置情報送信タイマー)」をご覧ください。

位置情報送信

『位置情報送信』を受けると...

1. 他船からの『位置情報送信』を受けると、呼び出し音が鳴るとともに、ディスプレイに『位置情報送信』を送出した局の現在位置(緯度/経度)を表示します。
2. **戻る** のソフトキー(または**【CH/ENTER▼】**ツマミ)を押してアラーム音を止めます。
他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。
3. もう一度 **戻る** のソフトキーを押します。
通常の運用方法に戻ります。



DSCログ (送受信履歴ファイル)

本機は、自分(自局)が送信した送信ログ(遭難通報およびDSCコール)を最大24メッセージ、受信した遭難通報のログを最大27メッセージ、受信したDSCコール*のログ最大64メッセージ保存します。

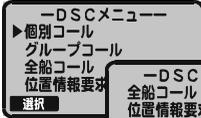
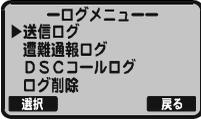
保存方式は「先入れ先出し」方式で、最大数(遭難通報で27メッセージ、DSCコールで64メッセージ)まで保存したあとに新しいメッセージを受信すると、一番古いメッセージが自動的に消去され、常に最新のメッセージを保存します。

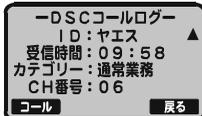
また、無線機から離れていたときに『個別コール』を受けたときのように、未読のメッセージがある場合には、ディスプレイに“**日**”アイコンが点灯します。

※：『個別コール』、『グループコール』、『全船コール』、『位置情報要求』、『位置情報送信』の5種類の呼び出し方法を総称して『DSCコール』と呼びます。



DSCログの見かた

- CALL MENU** ボタンを短く押します。
- [CH/ENTER▼]** ツマミをまわして『DSCログ』を選び、**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
- [CH/ENTER▼]** ツマミをまわして確認したい区分(『送信ログ』、『遭難通報ログ』または『DSCコールログ』)を選び、**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。未読のメッセージがある場合は、ディスプレイに“**日**”アイコンが点灯します。
- [CH/ENTER▼]** ツマミをまわして確認したいメッセージを選びます。
- コール** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押すと、メッセージを表示します。**[CH/ENTER▼]** ツマミをまわすと表示が上下に移動し、内容の詳細を確認することができます。確認したメッセージが『個別コール』の場合には、**コール** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押すことで、呼び出しを行った局に対して『個別コール』を送出することができます。
- [16/9]** ボタンを押します。通常の運用方法に戻ります。

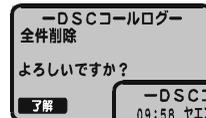
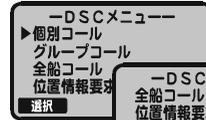


DSCログ (送受信履歴ファイル)

DSCログの削除

保存されたメッセージは、保存数が最大数(遭難通報で27メッセージ、DSCコールで64メッセージ)を超えると、新しいメッセージを受信するたびに古いメッセージが古い順に順次に削除されていきますが、下記の操作を行うことにより、手動で削除することも可能です。

1. **CALL MENU** ボタンを短く押します。
2. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして『DSCログ』を選び、**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
3. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして『ログ削除』を選び、**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
4. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして削除したいメッセージが保存されている区分(『送信ログ』、『遭難通報ログ』または『DSCコールログ』)を選び、**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
5. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして『全件』または『1件』から選び、**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
6. 全件削除したい場合は**了解** のソフトキーを、1件削除したい場合は、**[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして削除したいメッセージを選びます。
7. **選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を長押しすると、確認を発して選択したメッセージが削除されます。
8. **[16/9]** ボタンを押します。
通常の運用方法に戻ります。

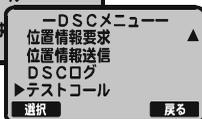


テストコール

『テストコール』のしかた

下記の手順で、特定の船舶局または海岸局にテスト信号を送出することができます。

1. **CALL** ボタンを短く押します。
2. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして『テストコール』を選び、**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。

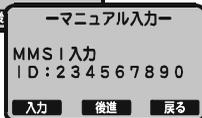
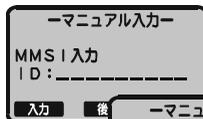


3. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして『マニュアル』を選び、**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。



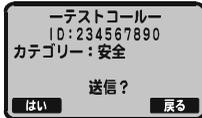
あらかじめ、テストコールを送りたい局(船舶局または海岸局)が『個別アドレス帳』に登録してある場合は、その局を選んで**了解** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押し、操作5.へ進みます。(登録方法は55ページの“DSC設定(個別アドレス帳)”を参照してください)。

4. **[CH/ENTER▼]** ツマミ(数字の選択)と**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します(桁の移動)を操作して呼び出したい局のID番号(9桁)を入力し、**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を長押しして確定します。



後進 のソフトキーを押すと一つ前の桁に移動しID番号を修正することができます。

5. **はい** のソフトキーを押します。
自動的に送信状態になって相手局にテストコールを送出し、その後、相手局からの応答を待ちます。



6. 呼び出した局からの『応答メッセージ』を受信すると、呼び出し音が鳴るとともに、ディスプレイが右に示すような表示に変わります。



7. **戻る** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押してアラーム音を止めます。



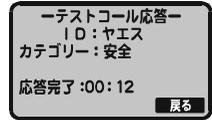
他のボタンを押しても、アラーム音は止まりません。

8. もう一度**戻る** のソフトキーを押すと、通常の運用方法に戻ります。

テストコール

『テストコール』を受けると...

1. 他船からの『テストコール』を受けると、ディスプレイに『テストコール』を行った局のID番号(または船名)を表示します。相手に『応答メッセージ』を送ります。
2. **戻る** のソフトキーを押します(または、10秒で通常表示に戻ります)。通常の運用方法に戻ります。

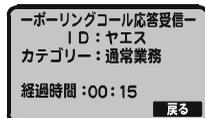
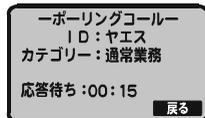
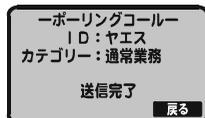
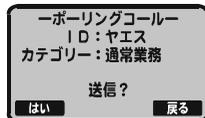
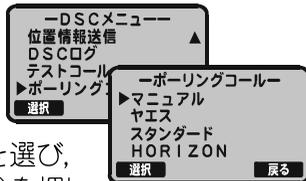


ポーリングコール

『ポーリングコール』のしかた

下記の手順で、特定局(船舶局)を登録(最大4局)しておくと、特定の相手局が通信できる範囲内にいるか確認することができます。

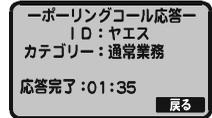
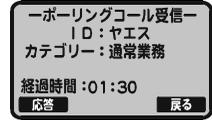
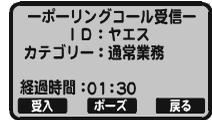
1. **CALL MENU** ボタンを短く押します。
2. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして『ポーリングコール』を選び、**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
3. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして『マニュアル』を選び、**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
あらかじめ、現在位置を知りたい局(船舶)が「個別アドレス帳」に登録してある場合は、その局を選んで**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押し、操作5.へ進みます。(登録方法は55ページの“DSC設定(個別アドレス帳)”を参照してください)。
4. **[CH/ENTER▼]** ツマミ(数字の選択)と**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します(桁の移動)を操作して呼び出したい局のID番号(9桁)を入力し、最後に**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を長押しして確定します。
後進 のソフトキーを押すと一つ前の桁に移動しID番号を修正することができます。
5. **はい** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
定期的に『ポーリングコール』を送出し、呼び出した局からの応答を待ちます。
6. 呼び出した局から応答があると、呼び出し音が鳴ります。
7. **戻る** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押してアラーム音を止めます。
他のボタンを押しても、アラーム音は止まります。
8. もう一度**戻る** のソフトキーを押します。
通常の運用方法に戻ります。



ポーリングコール

『ポーリングコール』を受けると...

1. 他船からの『ポーリングコール』を受けると、ディスプレイに「ポーリングコール受信」を表示しアラーム音が鳴ります。
2. 下記のソフトキーにより各機能が動作します。
 - 受入**：アラーム音が消え、受入を許可します。
 - ポーズ**：アラーム音が消え、受入の移行を中断します。
 - 戻る**：アラーム音が消え、受入を中止します。
3. 受入を許可すると画面が変わり■**応答**のソフトキーを押します。相手局に通信できる範囲内にいることを応答します。
4. ■**戻る**のソフトキーを押します。通常の運用方法に戻ります。



AIS 機能

本機は、AIS(Automatic Identification System)機能を搭載した船舶を、ディスプレイ上にレーダーチャートで簡易表示することができます。AIS機能は、あなたの船舶の近くにいるAIS機能を搭載した船舶の位置と進路を知ることができますので、衝突回避のための有効な手段となります。なお、AIS機能を正しく運用するためには、本機にGPS受信機が正しく接続してあることが必要です。

1.  ボタンを押すとディスプレイがAIS表示に変わります。
2. レーダーチャートの中心にある“▲”マークが自局の位置で、AISを搭載した船舶を“♁”と“♂”で表示します。
3. いずれかのソフトキーを押すとキーファンクションがディスプレイに3秒間表示されますので、その間にソフトキーの【LIST】を押すと、現在受信しているAIS局のID番号(または船名)を表示します(一度に表示できる局数は10局です)。
4. 【CH/ENTER▼】つまみをまわすとリストの中の局を選択することができます。選択された局は、レーダーチャート上に“♂”のアイコンで表示されます(それ以外の局は“♁”のアイコンで表示されます)。
5. いずれかのソフトキーを押すとキーファンクションがディスプレイに3秒間表示されますので、その間にソフトキーの【INFO】を押すと選択した局(“♂”)の詳細を表示します。
注意：本機ではAIS情報を約10秒毎に更新しています。そのため、実際の位置と表示上の位置に若干の違いを生じる場合があります。
6. いずれかのソフトキーを押すとキーファンクションがディスプレイに3秒間表示されますので、その間にソフトキーの【NEXT】を押すと他の局の詳細を知ることでもあります(【NEXT】で局を選択し、【INFO】で詳細表示)。
7.  ボタンを押すと、ディスプレイのAIS表示が通常の表示画面に戻ります。



AIS局への個別コールのしかた

1. 前項の操作を参考に、個別コールを送りたいAIS局を選択します(ソフトキーの【LIST】を押し、【CH/ENTER▼】つまみで選択)。
2. いずれかのソフトキーを押すとキーファンクションがディスプレイに3秒間表示されますので、その間にソフトキーの【CALL】を押します。
3. 【CH/ENTER▼】つまみをまわして通話チャンネルを選び、ソフトキーの【選択】(または【CH/ENTER▼】つまみ)を押します。
4. ソフトキーの【はい】(または【CH/ENTER▼】つまみ)を押します。
自動的に送信状態になって相手局を呼び出し、その後、呼び出した局からの応答を待ちます。
5. ソフトキーの【戻る】を押すと、AIS表示画面に戻ります。

下記に示すAIS機能動作時の各項目は、設定メニュー操作で変更することができます。

- 表示方向(コンパス表示の選択)
- 有効範囲(AISを受信する範囲)
- CPAアラーム(接近アラームを鳴らし始める接近予告海里)
- TCPAアラーム(接近アラームを鳴らし始める接近予告時間)
- 表示範囲(AISの表示範囲)

詳しくは、60ページを参照してください。

ウェイポイント機能

本機では、『魚が良く釣れた場所』や『座礁しやすい浅瀬』などの、気になる地点(ウェイポイント)を100箇所登録することができます。また、その地点に向かってナビゲーションを行うこともできます。

登録方法

1. **CALL MENU** ボタンを長く押しして“一設定メニュー”にします。
2. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして『ウェイポイント設定』を選び、ソフトキーの**【選択】**(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
3. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして『ウェイポイントディレクトリー』を選び、ソフトキーの**【選択】**(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
4. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして『追加』を選び、ソフトキーの**【選択】**(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
5. **[CH/ENTER▼]** ツマミ(文字・数字の選択)とソフトキーの**【入力】**(桁の移動)を操作して、登録したいウェイポイントの名前(11桁)を入力し、ソフトキーの**【入力】**を長押しして確定します。
 - ウェイポイントの名前は、初期表示として“WPT XXX”と表示されます。
 - ソフトキーの**【後進】**を押すと一つ前の桁に移動し、修正することができます。
 - H/L** キーで、ローマ字とカタカナを切り替えることができます。
6. **[CH/ENTER▼]** ツマミ(数字の選択)とソフトキーの**【入力】**(桁の移動)を操作して、登録したいウェイポイントの座標(緯度/経度)を入力します。
7. ソフトキーの**【入力】**を長押しすると、“一ウェイポイントディレクトリー”表示に戻り、設定した内容が登録されます。



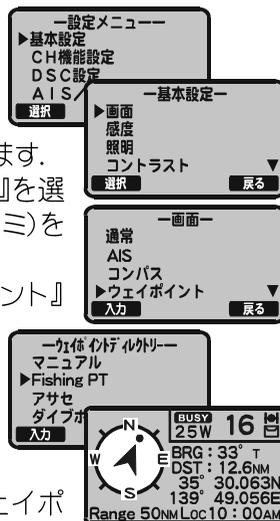
DSCで位置情報送信を受けたとき、ソフトキーの**【保存】**を押すと、“一ウェイポイント入力”表示になり、位置情報を送信した局の現在位置をウェイポイントとして登録することができます。

ウェイポイント機能

ナビゲーション

登録したウェイポイントには、以下の方法でナビゲーションできます。

1. **CALL MENU** ボタンを長く押しして“一設定メニュー”にします。
2. **CH/ENTER▼** ツマミをまわして『基本設定』を選び、ソフトキーの**【選択】**(または**【CH/ENTER▼】**ツマミ)を押します。
3. **CH/ENTER▼** ツマミをまわして『画面』を選び、ソフトキーの**【選択】**(または**【CH/ENTER▼】**ツマミ)を押します。
4. **CH/ENTER▼** ツマミをまわして『ウェイポイント』を選び、ソフトキーの**【選択】**(または**【CH/ENTER▼】**ツマミ)を押します。
5. **CH/ENTER▼** ツマミをまわして目的の『ウェイポイント』を選び、ソフトキーの**【選択】**(または**【CH/ENTER▼】**ツマミ)を押します。
6. ソフトキーの**【入力】**(または**【CH/ENTER▼】**ツマミ)を押すと、表示が右図のように切り替わり、目的の『ウェイポイント』を“●”で表示します。
矢印が“●”の方を向くように操船すれば、目的の『ウェイポイント』に到達することができます。
7. ナビゲーションを終了するには、いずれかのソフトキーを押すとキーファンクションがディスプレイに3秒間表示されますので、その間にソフトキーの**【STOP】**を押すとナビゲーションが終了し通常表示に戻ります。
 - 別の目的地を選択する場合は、**【LIST】**を押します。
 - ウェイポイントを表示させながら2波(DW)、スキャン(SCAN)など、他の機能を動作させる場合は、**【FUNC.】**を押します。



登録した『ウェイポイント』の修正と削除

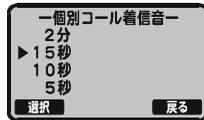
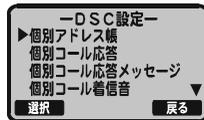
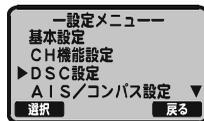
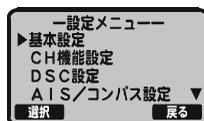
1. **CALL MENU** ボタンを長く押しして“一設定メニュー”にします。
2. **CH/ENTER▼** ツマミをまわして『ウェイポイント設定』を選び、ソフトキーの**【選択】**(または**【CH/ENTER▼】**ツマミ)を押します。
3. **CH/ENTER▼** ツマミをまわして『ウェイポイントディレクトリー』を選び、ソフトキーの**【選択】**(または**【CH/ENTER▼】**ツマミ)を押します。
4. 選択項目の『変更』で登録内容(名前または位置情報)の変更、『削除』で削除を行うことができます。



設定メニュー操作

操作方法

1. **CALL** ボタンを長押しします。
設定メニューが表示されます。
2. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして変更したい項目が含まれる大項目(“基本設定”または“DSC設定”)を選び、**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
大項目内の変更項目を選択できるようになります(次ページ参照)。
3. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして変更したい項目を選び、**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
4. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして設定を変更し、**選択** のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]** ツマミ)を押します。
5. **[16/9]** ボタンを押して設定メニューを終了します。



設定メニュー操作

	項目	機能説明	選択できる項目*
基本設定	画面	初期画面表示を選択します。	通常 / AIS / コンパス / ウェイポイント / GPSステータス
	感度	受信感度を選択します。	高 / 低
	照明	ディスプレイの明るさを調節します。	明 / 6 ~ 1 / オフ
	コントラスト	ディスプレイのコントラストを調節します。	0 ~ 31 (15)
	シフト時間	[UTC時間]と[現地時間]の差を設定します。	-12:00 ~ 00:00 ~ +12:00 (+09:00)
	タイムゾーン	GPSから得た[時間情報]の表示形式を選択します。	協定世界時 / 地域時間
	時刻表示	時刻表示を12時間または24時間表示に設定します。	12時間 / 24時間
	単位	表示値の単位を設定します。	速度 / 距離 / 高度
	磁気偏差	磁気偏差を選択します。	真方位 / 磁方位
	NMEA入出力	NMEAのパケット速度を選択します。	4800bps / 38400bps
操作音	ボタンを押したときに鳴る、操作音の音量を設定します。	OFF / レベル1 ~ レベル6 / 高 (レベル4)	
霧笛音	霧笛音の音程を設定します。	200Hz ~ 850Hz (50Hzステップ) (400Hz)	
コピートネーム	ディスプレイに表示される、無線機本体とオプションのリモートマイクの表示名を変更します。	無線機: RADIO 端末1: RAM1	
ソフトキー	ソフトキー(3種類)の詳細を設定します。	キーの数 / キー割り当て / キータイマー	
CH機能設定	CHグループ	日本国内で運用する場合は、INTL(国際)の設定で使用します。	-
	スキャンメモリー	スキャンしたいメモリーを指定します。	全チャンネルから選択可能(CH16)
	スキャンタイプ	スキャンの動作方法を選択します。	プライオリティスキャン / メモリスキャン
	スキャン再開時間	スキャンがストップ中に信号が無くなってからスキャンを開始する時間を設定します。	5秒 ~ 1秒 / オフ (2秒)
	プライオリティCH	プライオリティチャンネルを選択します	全チャンネルから選択可能(CH16)
DSC設定	CHネーム	チャンネル名を変更します。	全チャンネル変更可能
	個別アドレス帳	個別呼出を行うときに使用する、アドレス帳の登録/変更/削除を行います。	-
	個別コール応答	呼び出しを受けたとき、自動で応答するか否かを選択します。	自動 / 手動
	個別コール応答メッセージ	呼び出しを受けたときに送出する、応答メッセージを選択します。	応答可 / 応答不可
	個別コール着信音	呼び出し音が鳴り続ける時間を設定します。	2分 / 15秒 / 10秒 / 5秒
	グループアドレス帳	グループ呼出を行うときに使用するアドレス帳の登録/変更/削除を行います。	-
	位置情報送信タイマー	最後に「位置情報送信」を行った局に対して、一定時間の間隔で自局の位置情報を自動的に送信します。	マニュアル / 15分オート / 30分オート / 1時間オート
	位置情報要求応答	船位要求呼び出しを受けたとき、自動で応答するか否かを選択します。	自動 / 手動
	位置情報入力	自分(自船)の位置(緯度/経度)を手動で設定/送出することができます。	-
	DSC着信音	各種呼び出し音の設定を行います。	個別コール: ON / OFF グループコール: ON / OFF 全船コール: ON / OFF 位置情報要求: ON / OFF 位置情報送信: ON / OFF
自動CH切替時間	DSCを受信後、自動的に要求チャンネルに移行する時間を選択します。	10秒 / 20秒 / 30秒 / 40秒 / 50秒 / 1分 / 1.5分 / 2分 / 3分 / 5分 / 7分 / 10分	
AIS/コンパス設定	表示方向	コンパスの表示を選択します。	北を上 / 進行方向を上
	有力範囲	AISを受信する範囲を選択します。	1海里 / 2海里 / 4海里 / 10海里 / 15海里 / 20海里 / 30海里 / 40海里 / 50海里
	CPAアラーム	他船が設定海里毎に接近するとアラームで知らせる接近予告海里を設定します。	1海里 ~ 60海里
	TCPAアラーム	他船が接近するとアラームで知らせる接近予告時間を設定します。	1分 ~ 30分
	表示範囲	AISの表示範囲を選択します。	0.5海里 / 1海里 / 2海里 / 4海里 / 5海里 / 10海里 / 15海里

※: 太文字は、お買い上げ時に設定されている値です。

設定メニュー操作

	項目	機能説明	選択できる項目*
ウエイポイント機能	ウエイポイントデラトル 表示範囲	ウエイポイントを編集することができます。 ウエイポイントの表示範囲を選択します。	マークボタジョン / 追加 / 変更 / 削除 自動 / 0.5海里 / 1海里 / 2海里 / 5海里 / 10海里 / 15海里 / 20海里 / 30海里 / 40海里 / 50海里
	ユーザーMMSI	自局のID番号(MMSI番号)の登録を行います。	—
デモ機能	位置入力	デモ用の位置情報、や時刻を入力することができます。	—
	デモ開始	ディスプレイ上にGPS情報をデモ用として表示することができます。店頭用デモとして使用する機能です。	開始 / 停止

※：太文字は、お買い上げ時に設定されている値です。

設定メニュー操作

基本設定 (画面)

機能：初期画面表示を選択します。

選択項目：通常 / AIS / コンパス / ウェイトポイント / GPSステータス※

お買い上げ時：通常

※：GPSステータスは一時的にGPS受信機動作確認など使用する画面です。

無線機を操作すると初期画面表示 (通常 / AIS / コンパス / ウェイトポイント) に設定した画面に戻ります。

基本設定 (感度)

機能：受信感度を選択します。

選択項目：高 / 低

お買い上げ時：高

基本設定 (照明)

機能：ディスプレイの明るさを調節します。

選択項目：明 / 6 ~ 1 / オフ

お買い上げ時：明

基本設定 (コントラスト)

機能：ディスプレイのコントラストを調節します。

選択項目：0 ~ 31

お買い上げ時：15

基本設定 (シフト時間)

機能：『UTC時間』と『現地時間』の差を設定します。

選択項目：-12:00 ~ 00:00 ~ +12:00

お買い上げ時：+09:00

基本設定 (タイムゾーン)

機能：GPSから得た『時間情報』の表示形式を選択します。

選択項目：国際標準時間 / 地域時間

お買い上げ時：地域時間

基本設定 (時刻表示)

機能：時刻表示を12時間または24時間表示に設定します。

選択項目：12時間 / 24時間

お買い上げ時：12時間

基本設定 (単位)

機能：表示値の単位を設定します。

選択項目：速度 / 距離 / 高度

お買い上げ時：速度(ノット) / 距離(海里) / 高度(メートル)

設定メニュー操作

基本設定 (磁気偏差)

機能：磁気偏差を選択します。

選択項目：真方位 / 磁方位

お買い上げ時：真方位

基本設定 (NMEA 入出力)

機能：NMEAのパケット速度を選択します。

選択項目：4800bps / 38400bps

お買い上げ時：4800bps

基本設定 (操作音)

機能：ボタンを押したときに鳴る、操作音の音量を設定します。

選択項目：OFF / レベル1 / レベル2 / レベル3 / レベル4 / レベル5 / レベル6 / 高

お買い上げ時：レベル4

設定した操作音量は、受信音の音量調節に合わせて変化します。

基本設定 (霧笛音)

機能：霧笛音の音程を設定します。

選択項目：200Hz ~ 850Hz (50Hzステップ)

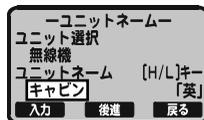
お買い上げ時：400Hz

基本設定 (ユニットネーム)

機能：ディスプレイに表示される、無線機本体とオプションのリモートマイクの表示名を変更します。

変更方法

1. **[CH/ENTER▼]**ツマミをまわして、表示名を変更したいユニット(無線機またはリモートマイク)を選びます。
2. **選択**のソフトキー(または**[CH/ENTER▼]**ツマミ)を押します。
3. **[CH/ENTER▼]**ツマミやボタンを操作して、新しい表示名をつけます(最大6文字)。使用できる文字は、アルファベット、カタカナ、記号、数字の4種類です。
[CH/ENTER▼]ツマミ：文字の選択



「英」(アルファベット/記号/数字)を入力することができます。まわすたびに文字が以下のように変わります。
アルファベット→記号→数字→アルファベット . . .
押すたびに「英」または「カナ」(カタカナ)文字に切り替わります。**[CH/ENTER▼]**ツマミで文字の選択をします。

[H/L] ボタン：

入力 のソフトキー： 次の桁に移動

後進 のソフトキー： 一つ前の桁に移動

4. **入力** のソフトキーを長押しします。

設定メニュー操作

5. 続けて他のユニットの表示名も変更するときには、操作 1. から 4. を繰り返します。
6. **戻る** のソフトキーを押します。

基本設定 (ソフトキー)

機能：ソフトキーの詳細を設定します。

選択項目：キーの数(3～10)/ キー割り当て* / キータイマー(1秒～10秒)

お買い上げ時：キーの数：4

キー割り当て：[キー 1]：プリセット

[キー 2]：スキャン

[キー 3]：2波

[キー 4]：マーク

キータイマー：4秒(ソフトキーの表示時間)

※：割り当てることができる機能は、照明、スキャン、2波、内線、汽笛、コンパス、目的地、AIS、AIS AL、プリセット、マーク、“プリセット 0”～“プリセット 9”です。

登録方法

例. 4キーに「内線」を登録する場合

1. 「キー割り当て」から[キー 4]を選択します。
2. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして、「内線」を選択します。
3. **入力** のソフトキーを押します。
4. **戻る** のソフトキーを押します。

CH機能設定 (CHグループ)

機能：日本国内で運用する場合はINTL(国際)の設定で使用します。

選択項目：グループ 1：国際

お買い上げ時：グループ 1：国際

CH機能設定 (スキャンメモリー)

機能：スキャンしたいメモリーを指定します。

選択項目：全チャンネル

お買い上げ時：CH16(チャンネル16)

CH機能設定 (スキャンタイプ)

機能：スキャンの動作方法を選択します。

選択項目：プライオリティースキャン / メモリースキャン

お買い上げ時：プライオリティースキャン

プライオリティースキャン：プライオリティーチャンネル(優先チャンネル：お買い上げ時はCH16)とプリセットチャンネルとメモリーチャンネルを自動的に順番に受信します。

メモリースキャン：プリセットチャンネルとメモリーチャンネルだけを自動的に順番に受信します。

設定メニュー操作

基本設定 (スキャン再開時間)

機能：スキャン動作中、信号が無くなってからスキャンが再開するまでの時間を選択します。

選択項目：OFF/ 1秒/ 2秒/ 3秒/ 4秒/ 5秒

お買い上げ時：2秒

CH機能設定 (プライオリティーCH)

機能：プライオリティーチャンネル(優先チャンネル)を選択します

選択項目：全チャンネル

お買い上げ時：CH16(チャンネル16)

CH機能設定 (CHネーム)

機能：チャンネル名の変更/入力を行います。

変更方法

1. **【CH/ENTER▼】**ツマミをまわして、名前を変更/入力したいチャンネルを呼び出します。
2. **入力**のソフトキー(または**【CH/ENTER▼】**ツマミ)を押します。
3. **【CH/ENTER▼】**ツマミやボタンを操作して、新しい表示名をつけます(最大6文字)。使用できる文字は、アルファベット、カタカナ、記号、数字の4種類です。

【CH/ENTER▼】ツマミ： 文字の選択

「英」(アルファベット/記号/数字を入力することができます)。

まわすたびに文字が以下のように変わります。

アルファベット→記号→数字→アルファベット...

押すたびに「英」または「カナ」(カタカナ)文字に切り替わります。**【CH/ENTER▼】**ツマミで文字の選択をします。

入力のソフトキー： 次の桁に移動

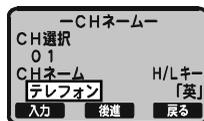
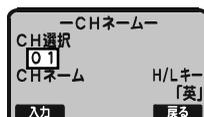
後進のソフトキー： 一つ前の桁に移動

CLR ボタン： 文字の消去

4. **入力**のソフトキーを長押しします。

5. 続けて他のユニットの表示名も変更するときには、上記の操作 1. から 4. を繰り返します。

6. **戻る**のソフトキーを押します。



設定メニュー操作

DSC 設定 (個別アドレス帳)

機能：個別コールを行うときに使用する、アドレス帳の登録/変更/削除を行います。

登録方法

1. **【CH/ENTER▼】**ツマミをまわして、「追加」を選びます。



2. **【入力】**のソフトキー(または**【CH/ENTER▼】**ツマミ)を押します。

3. **【CH/ENTER▼】**ツマミやボタンを操作して、登録したい局(船舶局または海岸局)の局名を入力します(最大11文字)。



使用できる文字は、アルファベット、カタカナ、記号、数字の4種類です。

【CH/ENTER▼】ツマミ：文字の選択

「英」(アルファベット/記号/数字を入力することができます)。

まわすたびに文字が以下のように変わります。

アルファベット→記号→数字→アルファベット
押すたびに「英」または「カナ」(カタカナ)文字に切り替わります。**【CH/ENTER▼】**ツマミで文字の選択をします。

【H/L】 ボタン：

【入力】 のソフトキー： 次の桁に移動

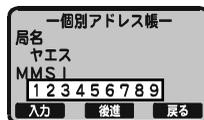
【後進】 のソフトキー： 一つ前の桁に移動

【CLR】 ボタン： 文字の消去

4. **【入力】** のソフトキーを長押しします。

5. **【CH/ENTER▼】**ツマミと **【入力】** のソフトキーを使用して、登録したい局のID番号(9桁)を入力します。

間違えて入力した場合は、ソフトキーの **【後進】** (戻る)/ **【入力】** (進む) で間違えた桁まで移動し、入力しなおしてください。



6. **【入力】** のソフトキーを長押しします。

7. 続けて他の局も登録するときには、上記の操作 1. から 6. を繰り返します。

8. **【戻る】** のソフトキーを押します。

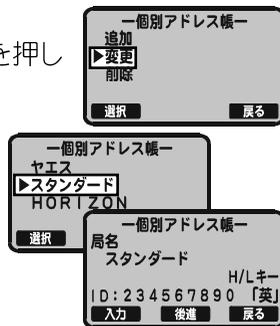
注意

リモートマイク“CMP30”を接続している場合は、「カナ」以外の文字を使用してください。CMP30で「カナ」を入力することはできません。また、表示することもできません。

設定メニュー操作

編集方法

1. **【CH/ENTER▼】**ツマミで「変更」を選びます。
2. **■入力**のソフトキー(または**【CH/ENTER▼】**ツマミ)を押します。
3. **【CH/ENTER▼】**ツマミをまわして変更したい局を選びます。
4. **■入力**のソフトキー(または**【CH/ENTER▼】**ツマミ)を押します。
5. 以後の操作方法は上記の「登録方法」と同じです。



削除方法

1. **【CH/ENTER▼】**ツマミをまわして「削除」を選びます。
2. **■選択**のソフトキー(または**【CH/ENTER▼】**ツマミ)を押します。
3. **【CH/ENTER▼】**ツマミをまわして削除したい局を選びます。
4. **■選択**のソフトキー(または**【CH/ENTER▼】**ツマミ)を長押しします。
削除されます。



DSC 設定 (個別コール応答)

機能：呼び出しを受けたとき、自動で応答するか否かを選択します。

選択項目：自動 / 手動

お買い上げ時：自動

DSC 設定 (個別コール応答メッセージ)

機能：呼び出しを受けたときに送出する、応答メッセージを選択します。

選択項目：応答可 / 応答不可

お買い上げ時：応答可

DSC 設定 (個別コール着信音)

機能：呼び出し音が鳴り続ける時間を設定します。

選択項目：2分 / 15秒 / 10秒 / 5秒

お買い上げ時：2分

設定メニュー操作

DSC設定 (グループアドレス帳)

機能：グループコールを行うときに使用するアドレス帳の追加/変更/削除を行います。

追加方法

1. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして「追加」を選びます。
2. **入力** のソフトキー (または **[CH/ENTER▼]** ツマミ) を押します。
3. **[CH/ENTER▼]** ツマミやボタンを操作して、登録したいグループ名を入力します (最大11文字)。
使用できる文字は、アルファベット、カタカナ、記号、数字の4種類です。



[CH/ENTER▼] ツマミ：文字の選択

「英」(アルファベット/記号/数字を入力することができます)。

まわすたびに文字が以下のように変わります。

アルファベット→記号→数字→アルファベット...
押すたびに「英」または「カナ」(カタカナ)文字に切り替わります。**[CH/ENTER▼]** ツマミで文字の選択をします。

H/L ボタン：

入力 のソフトキー： 次の桁に移動

後進 のソフトキー： 一つ前の桁に移動

CLR ボタン： 文字の消去

4. **入力** のソフトキーを長押しします。
5. **[CH/ENTER▼]** ツマミと **入力** のソフトキーを使用して、登録したい局のID番号(9桁)を入力します。
※ID番号の一桁目は「0」に固定されています。
間違えて入力した場合は、**後進** のソフトキー(戻る) / **入力** (進む) で間違えた桁まで移動し、入力しなおしてください。
6. **入力** のソフトキーを長押しします。
7. 続けて他のグループ局も登録するときには、上記の操作 1. から 6. を繰り返します。
8. **戻る** のソフトキーを押します。



注意

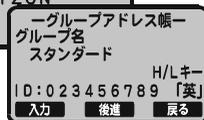
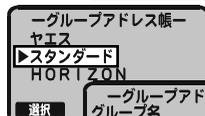
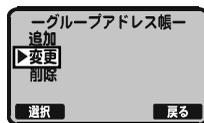
リモートマイク「CMP30」を接続している場合は、「カナ」以外の文字を使用してください。CMP30で「カナ」を入力することはできません。また、表示することもできません。

設定メニュー操作

変更方法

1. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして「変更」を選びます。
2. **選択** のソフトキー（または**[CH/ENTER▼]** ツマミ）を押します。
3. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして変更したい局を選びます。
4. **選択** のソフトキー（または**[CH/ENTER▼]** ツマミ）を押します。
5. 以後の操作方法は上記の「追加方法」と同じです。

注：グループ番号の先頭桁は“0”に固定されており、変更することはできません



削除方法

1. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして「削除」を選びます。
2. **選択** のソフトキー（または**[CH/ENTER▼]** ツマミ）を押します。
3. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして削除したいグループを選びます。
4. **選択** のソフトキー（または**[CH/ENTER▼]** ツマミ）を長押しします。
削除されます。



DSC 設定 (位置情報送信タイマー)

機能：最後に「位置情報送信」を行った局に対して、一定の時間間隔で自局の位置情報（現在位置：緯度経度）を自動的に送ります。自船の航跡を知らせたい場合に大変便利です。

選択項目：マニュアル/15分オート/30分オート/1時間オート

お買い上げ時：マニュアル

マニュアル：

自動的に「位置情報送信」は行いません。

「位置情報送信」を行う場合には、36ページを参考に、マニュアル操作で行ってください。

15分オート/30分オート/1時間オート：

選択した時間（15分、30分、1時間）ごとに、最後に「位置情報送信」を行った局

に対して、自局の位置情報を自動的に送ります。また、ディスプレイに“A”のアイコンが点灯します。



設定メニュー操作

DSC 設定 (位置情報要求応答)

機能：船位要求呼び出しを受けたとき、自動で応答するか否かを選択します。

選択項目：自動 / 手動

お買い上げ時：自動

DSC 設定 (位置情報入力)

機能：自分(自船)の位置(緯度/経度)を手動で入力/送出することができます。

FGPS-4が接続されていないか、または他のGPS受信機から位置情報(NMEAデータ)が入力されていないときに表示されます。

入力方法

現在時間(国際標準時間、24時間制)と現在位置(緯度/経度)を入力します。

1. **【CH/ENTER▼】**ツマミをまわして数字を選択します。
2. **【入力】**のソフトキー(または**【CH/ENTER▼】**ツマミ)を押して、次の桁へ移動します。
3. 上記の操作 1. から 2. を繰り返し入力します。
間違えて入力した場合は、**【後進】**のソフトキー(戻る)/**【入力】**(進む)で間違えた桁まで移動し、入力しなおしてください。
4. **【入力】**のソフトキーを長押しします。
5. **【16/9】**ボタンを押すと通常の表示に戻り、ディスプレイに設定した時間と位置(緯度/経度)が表示されます。



DSC 設定 (DSC 着信音)

機能：各種呼び出し音の設定を行います。

選択項目： 個別コール： ON / OFF
グループコール： ON / OFF
全船コール： ON / OFF
位置情報要求： ON / OFF
位置情報送信： ON / OFF

お買い上げ時：個別コール： ON
グループコール： ON
全船コール： ON
位置情報要求： ON
位置情報送信： ON

設定メニュー操作

DSC 設定 (自動CH切替時間)

機能：DSCを受信後、自動的に要求チャンネルに移行する時間を選択します。

選択項目：10秒/20秒/30秒/40秒/50秒/1分/1.5分/2分/3分/5分/7分/10分

お買い上げ時：30秒

AIS/コンパス設定 (有効範囲)

機能：コンパスの表示を選択します。

選択項目：北を上 / 進行方向を上

お買い上げ時：進行方向を上

AIS/コンパス設定 (表示方向)

機能：AISを受信する範囲を選択します。

選択項目：1海里/2海里/4海里/10海里/15海里/20海里/30海里/40海里/50海里

お買い上げ時：10海里

AIS/コンパス設定 (CPA アラーム)

機能：他船が設定海里毎に接近するとアラームで知らせる接近予告海里を設定します。

選択項目：1海里～60海里

お買い上げ時：アラームOFF

AIS/コンパス設定 (TCPA アラーム)

機能：他船が接近するとアラームで知らせる接近予告時間を設定します。

選択項目：1分～30分

お買い上げ時：アラームOFF

AIS/コンパス設定 (表示範囲)

機能：ATISの表示範囲を選択します。

選択項目：0.5海里/1海里/2海里/4海里/5海里/10海里/15海里

お買い上げ時：0.5海里

ウェイポイント機能設定 (ウェイポイントディレクトリー)

機能：ウェイポイントで表示する目的地を編集することができます。

選択項目：マークポジション / 追加 / 変更 / 削除

設定メニュー操作

ウェイポイント機能設定 (表示範囲)

機能：ウェイポイントの表示範囲を選択します。

選択項目：自動/0.5海里/ 1 海里/ 2 海里/ 5 海里/ 10海里/ 15海里/20海里/30海里/ 40海里/50海里

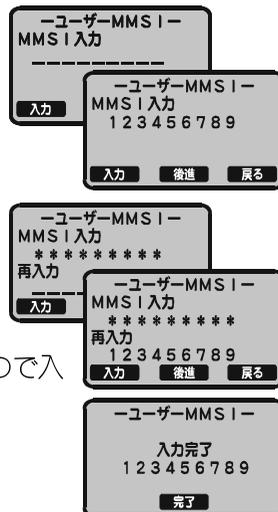
お買い上げ時：自動

ユーザーMMSI (ユーザーMMSI)

機能：自局のID番号(MMSI番号)の登録を行います。登録後再入力はいけません。

登録方法

1. **選択** のソフトキーを押し、自局のID番号(MMSI番号：9桁)を入力する画面に移行します。
2. **[CH/ENTER▼]** ツマミをまわして、1桁目の数字を入力します。
3. **入力** のソフトキーを押して、次の桁へ移動します。間違えて入力した場合は、**後進** のソフトキー(戻る)/**入力** (進む)で間違えた桁まで移動し、入力しないおしてください。
4. 9桁まで入力すると確認のため、もう一度自局のID番号(MMSI番号)を入力します。
※：MMSI番号の10桁目は、“0”に固定されていますので入力することはできません。
5. **完了** のソフトキーを押して、登録完了です。



注意

- 登録したユーザーMMSI番号は、お客様自身でリセット(消去)や再登録を行うことはできません。
- MMSI番号のリセット(有償)は、ご購入いただきました販売店にご相談ください。
- MMSI番号を間違えて登録した場合や、無線機の譲渡、廃局などの場合は、リセットする必要があります。

デモモード設定 (位置入力)

機能：デモ用の位置情報や時刻を入力することができます。

選択項目：位置 / 位置時間

お買い上げ時：位置 何も入力されていません。

位置時間 何も入力されていません。

デモモード設定 (デモ開始)

機能：ディスプレイ上にGPS情報をデモ用として表示することができます。

選択項目：開始/停止

お買い上げ時：停止

リモートマイク“CMP 30”の使いかた

オプションのリモートマイク“CMP30”を接続すると、無線機本体のほとんどの操作をリモートマイクから行うことができます。また、無線機本体とリモートマイク間で内線通話が行えるようになります。

各部の名称と働き

【送信出力切替ボタン】

押すたびに、送信する電波の強さが“H(25W)”/“LOW(1W)”の2段階で切り替わります。

【送信ボタン(PTT)】

このボタンを押しながら、マイクに向かって話します。相手の話を聞くときは、このボタンを放します。

【電源ボタン】

長押しすると、本機と無線機の電源が“ON”になります。もう一度長押しすると、電源が“OFF”になります。

【マイク】

ここに向かって話します。

【プログラマブルボタン】

使用状況に合わせて、各種の機能を選択/設定することができるボタンです。

【キーボード】

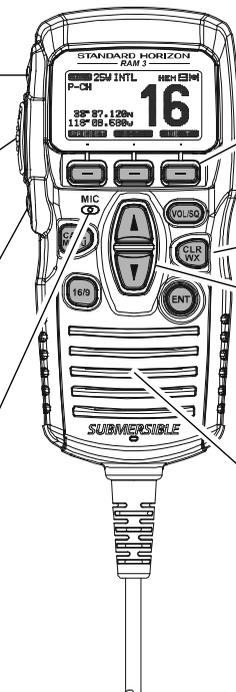
各種機能の選択や設定を行うためのキーボードです。

【▲▼ボタン】

- チャンネルを選びます。
- 音量を調整します。
- スケルレベルを調整します。
- 設定メニュー操作時、各種の項目を選びます。

【スピーカー】

ここから相手の声や操作音が聞こえます。



【遭難通報ボタン】

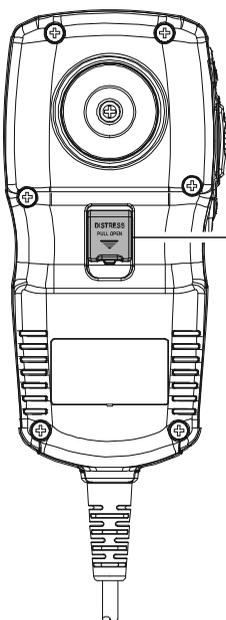
遭難通報を送出します。赤色のカバーをめくり、**中のボタンを約3秒間押し続けること**で、**遭難信号が送出**されます。

ご注意

リモートマイク“CMP30”は日本語に対応していませんので、ディスプレイに表示される表記は全て英文となります。また、カタカナで登録した「局名」や「グループ名」は表示されません。

音量調整/スケルチ調整のしかた

- **VOL/SQL** ボタンを押すたびに、**▲/▼** ボタンの動作が「音量調節」→「スケルチ調節」→「音量調節」……と切り替わり、**▲/▼** ボタンを押すと、ディスプレイの左下に「VOL」または「SQL」表示が点灯します。
- **▲/▼** ボタンを押して音量(またはスケルチレベル)を調節します。
- 設定後、そのまま放置(約5秒)すると、**▲/▼** ボタンの動作が、「チャンネル切り替え動作」に戻り、ディスプレイの「VOL」または「SQL」表示が消灯します。



リモートマイク“CMP30”の使いかた

内線通話機能

あらかじめ、プログラマブルボタンのいずれかのボタンに「内線通話機能(IC)」を割り当てておけば(設定の詳細は53ページを参照してください)、リモートマイクから内線通話機能を“ON/OFF”することができます。

1. いずれかのプログラマブルボタンを押すとキーファンクションがディスプレイに約4秒間表示され、その間に **NEXT** のプログラマブルボタンを押します。

NEXT のプログラマブルボタンを押すと他のファンクションを表示することができます。

2. **ENT** ボタンを押すと、相手と内線通話が行えます。

3. リモートマイクの【送信(PTT)】ボタンを押しながらマイクに向かって話します。ディスプレイに「Talk」の表示が点灯します。

【送信(PTT)】ボタンを放すと、受信状態に戻り、相手の話を聞くことができます。

4. 相手から応答があると、ディスプレイに「Listen」の表示が点灯し、相手の話を聞くことができます。音量調節は **(VOL/SQ)** ボタンを押した後に **(A)** / **(V)** ボタンで行います。

相手が送話中にリモートマイクの【送信(PTT)】ボタンを押すと、「プー」と警告音を発します。

5. 内線通話機能が動作中に **CALL** のプログラマブルボタンを押すと、相手に呼び出し音を送ることができます。
6. **(CLR)** ボタンを押すと、内線通話機能は“オフ”になります。



(内線機能動作時の表示)



(CMP30のPTTスイッチを押したとき)



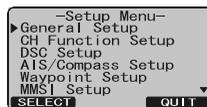
(GX2150JのPTTスイッチを押したとき)

リモートマイク “CMP 30” の使いかた

外部スピーカーの ON/OFF 設定

リモートマイク “CMP30” に外部スピーカーを接続した際、外部スピーカーの動作を “ON/OFF” することができます。

1. リモートマイク “CMP30” の  ボタンを長押しします。
設定メニューが表示されます。
2. “General Setup” が選択されていることを確認し (“▶” の表示) **[SELECT]** のプログラマブルボタン、または  ボタンを押します。
大項目内の変更項目を選択できるようになります。
3.  ボタンを操作して、“EXT Speaker” を選び、**[SELECT]** のプログラマブルボタン、または  ボタンを押します。
4.  ボタンを操作して設定を変更し、**[ENT]** のプログラマブルボタン、または  ボタンを押します。
On : 外部スピーカーが “ON” になり、“CMP30” の内蔵スピーカーは “OFF” になります。
Off : 外部スピーカーが “OFF” になり、“CMP30” の内蔵スピーカーは “ON” になります。
5. **[QUIT]** のプログラマブルボタンを 2 回押して設定メニューを終了します。

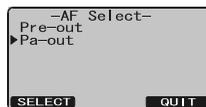
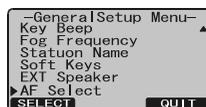
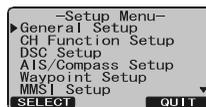


リモートマイク“CMP30”の使いかた

外部スピーカーの音量調節方法設定

リモートマイク“CMP30”に外部スピーカーを接続した際の、外部スピーカーの音量調節方法の設定を行います。

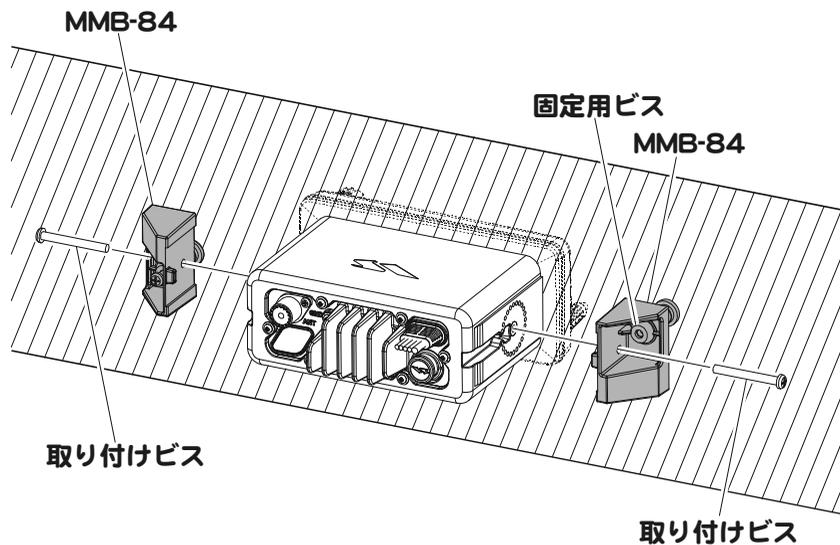
1. リモートマイク“CMP30”の  ボタンを長押しします。
設定メニューが表示されます。
2. “General Setup”が選択されていることを確認し(“▶”の表示) **[SELECT]**のプログラマブルボタン、または  ボタンを押します。
大項目内の変更項目を選択できるようになります。
3.  ボタンを操作して、“AF Select”を選び、**[SELECT]**のプログラマブルボタン、または  ボタンを押します。
4.  ボタンを操作して設定を変更し、**[ENT]**のプログラマブルボタン、または  ボタンを押します。
Pre-out : 外部スピーカーの音量調節は“無効”になります。
音量調節機能が付いたスピーカーを使用する場合などに選択してください。
Pa-out : “CMP30”で外部スピーカーの音量を調節することができます。
5. **[QUIT]**のプログラマブルボタンを2回押して設定メニューを終了します。



埋込設置用固定ブラケット“MMB-84”の使いかた

オプションの埋込設置用固定ブラケット“MMB-84”を使用すると、本機を船舶の操作パネルに埋め込んで設置することができます。なお、この際、この取扱説明書に付属している『テンプレート』を使用すれば、簡単に埋込場所の選定と取り付け穴の加工が行えます。

1. 付属のテンプレートを使用して、本機の埋込場所を選定します。
なお、埋込場所の選定ですが、操船に支障の無いよう、安全と操作性に配慮するとともに、船舶の操作パネルの裏側に十分なスペース（奥行き：約17cm）があることを確認してください。
2. テンプレートに従って、操作パネルに取り付け穴（幅205 mm、高さ72 mm）をあけます。
3. 取り付け穴に本機を挿入し、“MMB-84”に付属している取り付けビスで、“MMB-84”を本機に取り付けます。
注：故障の原因になりますので、付属のビス以外は絶対に使用しないでください
4. “MMB-84”の固定用ビスをまわして、本機を船舶の操作パネルにしっかり固定します。
5. 以上で取り付けは終了です。10ページの『周辺機器の接続』を参考に、アンテナ、電源、GPS受信機（必要に応じて、外部スピーカー）を接続します。



付属品・オプション

付属品

- **GX2150J** 無線機本体(マイクロホンを含む)
- 電源ケーブル(6 Aヒューズ付き)
- 取付用ブラケット一式
- マイクハンガー取り付け一式
- 取扱説明書
- 無線局申請書一式
- 保証書

オプション

MLS-300	大音量外部スピーカー
220SW	ホーンスピーカー
MMB-84	埋込設置用固定ブラケット
CMP30	リモートマイク(7mケーブル付)
CT-100	CMP30用延長ケーブル(7m)
HC2000	ダストカバー
FGPS-4	GPSアンテナユニットセット
FP-32	交流(AC)100V用電源

定格

一般定格

周波数範囲：	156.025 MHz～162.000 MHz (詳細は右ページを参照してください)
周波数ステップ：	25 kHz
周波数安定度：	± 3 ppm (−20 °C～+60 °C)
電波型式：	音声：F3E, DSC：F2B
アンテナ・インピーダンス：	50 Ω
電源電圧：	DC 13.8 V, マイナス接地
消費電流：	0.9 A (受信時) 550 mA (受信無信号時) 5.0 A (送信25 W時) 1.0 A (送信1 W 時)
DSCフォーマット：	ITU-R M.493
入力NMEAフォーマット：	GLL / GGA / RMC / GNS / GSA / GSV
出力NMEAフォーマット：	DSC / DSE / VDM
使用温度範囲：	−20 °C～+60 °C
本体寸法(突起物を除く)：	180 x 80 x 160 mm (幅 x 高さ x 奥行)
本体重量：	約1.5 kg(マイクロホンを含む)

送信部

送信出力：	25 W / 1 W
変調方式：	バリエابل・リアクタンス変調
最大周波数偏移：	±5 kHz
不要輻射強度：	80 dB(25 W), 66 dB(1 W)
S/N比：	約50 dB

受信部

受信方式：	ダブルコンバージョン・スーパーヘテロダイン
中間周波数：	第一：21.7 MHz, 第二：450 kHz
受信感度：	0.3 μV(12 dB SINAD)
選択度：	12 kHz / 25 kHz(−6 dB/−60 dB)
近接チャンネル選択度：	約80 dB
相互変調歪：	約80 dB
S/N比：	40 dB typical
低周波出力：	4.5 W @4 Ω for 10 % THD

AIS部

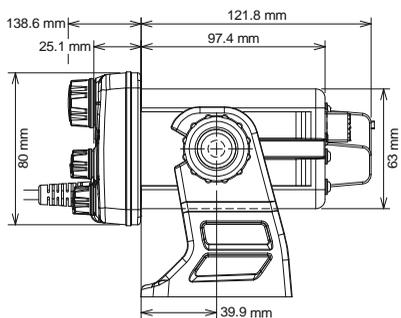
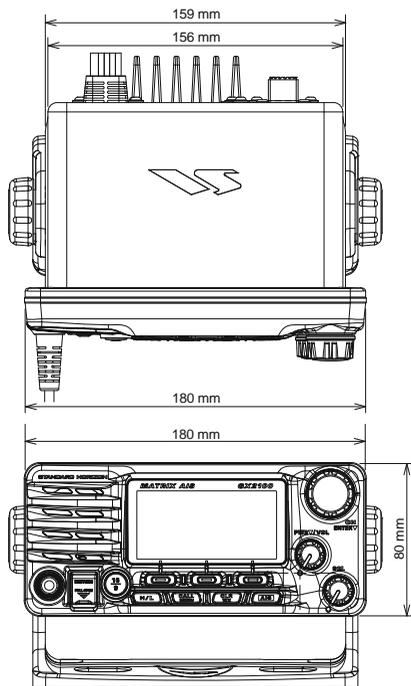
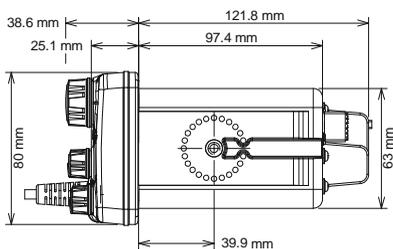
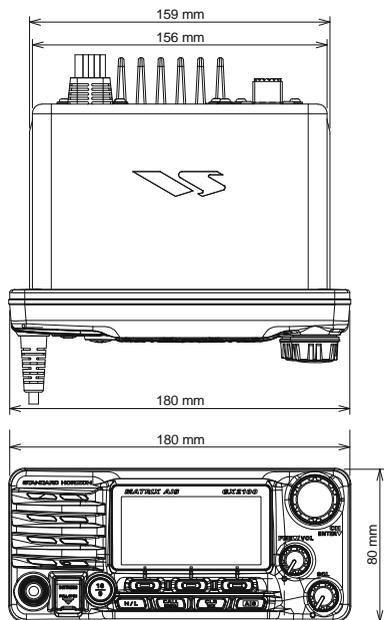
周波数：	161.975 MHz(AIS 1), 162.025 MHz(AIS 2)
受信感度：	0.5 μV(at 12 dB SINAD)
近接チャンネル選択度：	70 dB
相互変調歪：	70 dB

チャンネル表

チャンネル	送信周波数 (MHz)	受信周波数 (MHz)	備考	チャンネル	送信周波数 (MHz)	受信周波数 (MHz)	備考
01	156.050	160.650		60	156.025	160.625	
02	156.100	160.700		61	156.075	160.675	
03	156.150	160.750		62	156.125	160.725	
04	156.200	160.800		63	156.175	160.775	
05	156.250	160.850		64	156.225	160.825	
06	156.300	156.300	すべての船舶相互間用	65	156.275	160.875	
07	156.350	160.950		66	156.325	160.925	
08	156.400	156.400	すべての船舶相互間用	67	156.375	156.375	
09	156.450	156.450	遭難・緊急・安全・一般呼出用*	68	156.425	156.425	
10	156.500	156.500	すべての船舶相互間用	69	156.475	156.475	小型船舶間同士用
11	156.550	156.550	海上保安庁等の海岸局用	70	—	156.525	DSC専用
12	156.600	156.600	海上保安庁等の海岸局用	71	156.575	156.575	所属海岸局用
13	156.650	156.650	船舶相互間・海上保安庁海岸局*	72	156.625	156.625	小型船舶間同士用
14	156.700	156.700	海上保安庁等の海岸局用	73	156.675	156.675	小型船舶間同士用
15	156.750	156.750		74	156.725	156.725	所属海岸局用
16	156.800	156.800	遭難・緊急・安全・一般呼出用*	75	156.775	156.775	
17	156.850	156.850		76	156.825	156.825	
18	156.900	161.500		77	156.875	156.875	一般呼出・応答用
19	156.950	161.550		78	156.925	161.525	
20	157.000	161.600		79	156.975	161.575	
21	157.050	161.650		80	157.025	161.625	
22	157.100	161.700		81	157.075	161.675	
23	157.150	161.750		82	157.125	161.725	
24	157.200	161.800		83	157.175	161.775	
25	157.250	161.850		84	157.225	161.825	
26	157.300	161.900		85	157.275	161.875	
27	157.350	161.950		86	157.325	161.925	所属海岸局用
28	157.400	162.000		87	157.375	157.375	
—	—	—	—	88	157.425	157.425	

※チャンネル“09”は、チャンネル“16”が使用中の場合に使用します。
免許状に記載されたチャンネルで運用してください。

GX2150J 寸法図



STANDARD HORIZON

Nothing takes to water like Standard Horizon

©2017 八重洲無線株式会社
無断転載・複写を禁ず

Printed in China.

八重洲無線株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川2-5-8 天王洲パークサイドビル



E M O 4 4 N O O 5